

努力は嘘をつかない。東 将之 さん
FAR : 1回目、BEC : 2回目
REG : 3回目、AUD : 2回目

.. 1

やればやるほど伸びる、努力は必ず報われます！荒井 孝文 さん
FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 2

3ヶ月ごとの計画をしっかりと立てました。N.H さん
FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 2回目

.. 3

東南アジアから USCPA を目指して福崎 紗甫里 さん
FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 4

諦めない気持ちがあれば必ず合格できます。東間 洋介 さん
FAR : 2回目、BEC : 2回目
REG : 1回目、AUD : 2回目

.. 5

最後の一つはモチベーションを保つこと依田 哲弘 さん
FAR : 5回目、BEC : 10回目
REG : 4回目、AUD : 3回目

.. 6

折角だから勉強を楽しもう。白川 武史 さん
FAR : 1回目、BEC : 2回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 7

モチベーション管理、これにつきますK.K さん
FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 8

10年後の自分を信じて関口 義雄 さん
FAR : 1回目、BEC : 2回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 9

受からなければ意味がない、という気持ちで臨むことが大切だと思います。T.N さん
FAR : 3回目、BEC : 5回目
REG : 2回目、AUD : 3回目

.. 10

試験のプランニングが大切です。宋 喆 さん
FAR : 3回目、BEC : 2回目
REG : 2回目、AUD : 2回目

.. 11

1点の壁に苦しめられた BECR.K さん
FAR : 1回目、BEC : 4回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 12

**TACのおかげで3Q連続科目合格できました！
(AUDのみ他校で合格)**井口 明子 さん
FAR : 2回目、BEC : 3回目
REG : 1回目、AUD : 3回目

.. 13

重要論点を押さえつつ「まんべんなく」をご自身にあった勉強スタイルでA.K さん
FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 14

経理の実務経験が合格に役立つ鈴木 岳人 さん
FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 15

あきらめないこと！（BECのみTACで受講）M.O さん
FAR : 1回目、BEC : 3回目
REG : 1回目、AUD : 2回目

.. 16

忙しい社会人ほどこの試験に挑戦する価値があります。藤沢 達夫 さん
FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 2回目

.. 17

合格以上のものを手に入れました及川 美里 さん
FAR : 1回目、BEC : 3回目
REG : 2回目、AUD : 1回目

.. 18

**Petit a petit, l'oiseau fait son nid.
(小鳥は少しずつ巣を作る)**竹迫 昂 さん
FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 19

夢、感謝、仲間を持って頑張りましょう！呉 華慧 さん
FAR : 3回目、BEC : 3回目
REG : 1回目、AUD : 2回目

.. 20

仕事と両立できる学習方法の見極めと習慣づけが大事M.H さん
FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 21

辛い時も、あきらめなければきっと合格できます！N.I さん
FAR : 1回目、BEC : 2回目
REG : 1回目、AUD : 3回目

.. 22

自分を信じて諦めないこと！M.F さん
FAR : 1回目、BEC : 3回目
REG : 3回目、AUD : 1回目

.. 23

自分の成長を感じる資格Chun Steven Yang さん
FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 2回目、AUD : 1回目

.. 24

思い立ったら、今でしょ！？佐藤 大志 さん
FAR : 1回目、BEC : 2回目
REG : 2回目、AUD : 3回目

.. 25

TAC & Becker で早期合格できます！T.M さん
FAR : 1回目、BEC : 2回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 26

学習停滞時は冷静に自己分析して学習方法の軌道修正も大事。とにかくあきらめないで。 ..27

K.Y さん FAR : 2回目、BEC : 3回目
REG : 4回目、AUD : 4回目

経理経験者は諦めず勉強を続けましょう ..28

M.A さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 2回目、AUD : 1回目

仲間を作って学習、諦めなければ合格できます！ ..29

中田 友彦 さん FAR : 1回目、BEC : 4回目
REG : 2回目、AUD : 2回目

諦めずに学習を続ければ、必ず成就します。 ..30

晝間 洋介 さん FAR : 1回目、BEC : 2回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

継続すれば結果は伴ってくるもの ..31

S.Y さん FAR : 3回目、BEC : 3回目
REG : 4回目、AUD : 3回目

英語力と会計関連知識の向上に有用 ..32

大内 大輔 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 2回目

TAC を信じてやるべきことをしっかりこなせば合格できます！ ..33

M.I さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 2回目

最後まで頑張りましょう。 ..34

田村 敦 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 2回目、AUD : 1回目

USCPAは自分と人生を変えてくれました。 ..35

N.T さん FAR : 2回目、BEC : 2回目
REG : 2回目、AUD : 2回目



努力は嘘をつかない。

東 将之 さん

1982年12月生まれ
2005年大卒
勤務先：製造業

2013年10月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）
FAR：:85点（2012年11月/1回目）、BEC：77点（2013年2月/2回目）
REG：80点（2013年10月/3回目）、AUD：75点（2013年8月/2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

BATIC講座受講時に、当時BATICとU.S.CPAの講師であった小泉講師が、「コントローラーを取得出来れば、U.S.CPA（FAR）にもスグに合格出来る」というお話をされていて、U.S.CPAに興味を持ち、試験について調べていくうちに、どうせ勉強するのであれば、上位の資格であるU.S.CPAにもチャレンジしようと思ったのがきっかけです。

また、会計知識を活かしてグローバルな環境で仕事をしたいと漠然と考えていたため、英語で会計、税法、内部統制、監査、法務、ITなどの会計を中心とした幅広い領域をカバーしているU.S.CPAの試験範囲は、自身のキャリアビジョンを考えた時に、役立つ内容ばかりであり、大変魅力的な試験であると思いました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記2級（1級学習経験有り）、BATICコントローラー。また、財務会計、管理会計、税務など、経理実務を一通り経験していたため、実務における具体的な処理イメージを持って、問題を解く事が出来た点は、有利であったと思います。

英語知識：学習開始時の英語力については、中学英語も忘れていた状態で、U.S.CPA受講生の中で、確実に最低ランクのレベルでした。（U.S.CPA合格後はTOEIC®TEST760点）

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

学生時代より、日商簿記講座などを受講しており、安心感があったため。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

U.S.CPAの講師（小泉先生、草野先生、阿辺先生、内田先生、田中先生、杉浦先生、帆足先生）、事務局スタッフ、合格者の方々は、受験生にとにかく合格して欲しいという思いを持たれているような気がします。受験手続きから合格するための学習方法まで、きめ細かくアドバイスをいただけた点が最も良かった点です。また、ユニークな講師が多く、印象に残る授業が多かったことは、モチベーションを維持出来た要因でもありました。お世話になった方々には、この場を借りて、心から御礼申し上げます。本当に有り難う御座いました。

教材については、TACのテキストは、今見返しても、試験範囲の学習論点が非常にコンパクトにまとまっており、効率的に勉強が出来る教材であったと思います。また、日本語・英語併記であった点は、英語が苦手であった自分にとっては、大変助かりました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通学（2012年夏）にて受講し、受講開始から合格までの学習期間は、1年2ヵ月。

当初は、1年以内の短期合格を目指していたため、2012年夏入学クラスの受講と同時に、1クール前の2012年春入学クラスを受講し、授業については9ヵ月で終わらせました。

また、授業を受講しながら、本試験を受験していたため、スケジュール的には非常にタイトでありました。

目先に控える本試験の勉強だけで一杯一杯で、授業の予習・復習の時間はなく、理解不十分のまま授業に出席していたため、あまりお勧めできる学習スタイルではないかも知れません。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと/科目別）

短期合格を目指していたことから、当時英語力が乏しい自分が、英語解説のBeckerで勉強した場合、通常の人以上に、多くの時間が必要であると考え、英語・日本語併記のTACのテキスト、問題集だけに絞り、勉強しました。1日の勉強時間は、朝1時間（08:30-09:30）、昼1時間（12:00-13:00）、夜2時間（19:00-21:00）というパターンが一番多かったですが、学習期間中は、仕事に余裕があり、規則正しく勉強できる環境があった点は、恵まれていたと思います。

具体的な勉強方法は、以下の通りです。

- ① TACの問題集を解く。この時点では、考えて解くというよりも、問題を読んで、解答を読む程度です。
- ② 解いた問題の論点を、TACのテキストで確認し、解答に必要なロジックを理解する。
- ③ 理解した論点をエクセルにまとめる。
ノートではなく、エクセルやワードなどでまとめるメリットは、後で修正・加筆がしやすいという点以上に、Dropboxなどのクラウドに保管することで、ネットにさえ繋がれば、PC、iPhone、iPadなどで、いつでも、どこでも確認することが出来る点にあると思います。
膨大な学習範囲であることから、勉強が進むにつれて、一度理解した事であっても忘れることが多々あると思います。後で見て、理解した論点を自分なりのロジックで思い出せるよう記録する勉強方法は、自分には最も合ったやり方でした。
- ④ まとめた内容を何度も読み返す。
- ⑤ TACの問題集を自力で解く。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続については、TACの受講生サイトに非常に分かりやすく、まとめられていたため、特に困ることなく、進める事が出来ました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

U.S.CPAの学習を通じて学んだ、会計を中心とした幅広い知識は、日常業務のあらゆる局面で、役に立っている事を実感することができ、本当に勉強して良かったと思っています。

また、合格後は、監査法人、コンサル、事業会社など幅広い業界で転職活動をしましたが、U.S.CPAが転職市場では、一定の評価を得ている資格であることを、肌で感じる事が出来ました。U.S.CPAの知識が、実務でそのまま通用するような深い知識であるとは思いますが、全科目合格というステータスは、英語力と会計力の基本的な知識を有していることのエビデンスになると同時に、1,000時間以上勉強したという努力のエビデンスでもあり、自分に自信を持つ事ができると思います。

決して簡単に合格できる資格試験ではないと思いますが、試験の性格上、努力が確実に実を結ぶ資格試験であると思います。是非、合格を目指して頑張ってください！



やればやるほど伸びる、努力は必ず報われます！

荒井 孝文 さん

1983年生まれ
慶應義塾大学 経済学部 卒業
勤務先：監査法人
公認会計士

2013年11月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）
FAR：83点（2013年2月／1回目）、BEC：75点（2013年2月／1回目）
REG：91点（2013年11月／1回目）、AUD：89点（2013年8月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

公認会計士になった後、この先どうキャリアを積んでいくのか将来を模索していました。

当時はいわゆるドメスティックな職場環境で、英語自体に携わることはほとんどありませんでした。ただそうは言っても自分とは違う部署では国際部があり、同期の話聞いてるうちに、英語ができない会計士というのはどうなのかと考えていました。

修了考査も終わったので、せっかくだと会計に携わっているものとして、次のステージとしてUSCPAにチャレンジすることを決めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

英語力：TOEIC500点くらい。大学受験から英語には触れていませんでした。会計知識は、公認会計士として日々仕事をしておりますので、合格レベルの知識はありました。

ちょうどUSCPAの最後の科目の受験をした2013年11月頃に、国際部中心の外資系商社のプロジェクトメンバーにアサインされ、USCPAの知識を実際に実務で活かしています。

契約書や書類が全て英語なのですが、USCPA試験で膨大な量の英文を短時間で処理する訓練を積み重ねたので非常に役立っています。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

日本の公認会計士講座をTACで勉強したのでその流れでTACを考えました。Beckerが米国でも評価が高い教材ですので、他社のパンフレットも見ましたがTACに迷いはありませんでした。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

やはり教材がものすごく良かったです。TACで提供される教材（Becker含む）だけで十分合格できますので、それ以外の教材はまったく必要ないと思います。レジュメ等もコンパクトにまとまっておりますので集約されておりましたので素晴らしい内容でした。

自習室が使えたことも良かったです。TAC池袋を自習室として使わせていただけていました。

USCPAのテキストで学習していくにつれて、大学時代で止まっていた英語の知識が復活しました。会計知識に関しても短時間で大量の英文を処理する経験を通して、日本語だけでなく英語でも知識が整理され、実務で活かす事が出来ています。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信講座で勉強し、通学（フリーパス制度）は1回も利用しませんでした。仕事の関係で教室の講義に参加することはできませんでしたが、通える方は教室の雰囲気や味わえるというのはメリットがあると思います。

勉強時間
平日：1時間30分できれば御の字。
土日：出来る限りで勉強しました。
5月6日、9月10日は比較的繁忙期ではなかったので、休めるときは有休をとらせていただき、TAC池袋校の自習室で勉強していました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

2012年12月末までに全科目一通り勉強をし、その後、1科目～2科目ずつ試験に向けて知識を定着させる方法を取りました。

<受験>
2013年2月：FAR、BEC
2013年5月：決算処理の関係で受験できず。
2013年8月：REG
2013年11月：AUD

18ヶ月の科目有効期限が意外と厳しいと感じました。働いている人であれば、繁忙期等で勉強が滞ってしまう期間もあると思いますので、このあたりのスケジュールはきっちりと最初の段階で計画していったほうが良いと思います。

そのこともあって、最初に一通り全範囲を学習するという方法を取りました。一通りやっておけば、合格まであとどのくらい知識を上げていかなければならないのかという目処もつけられると思います。

全範囲の勉強方法ですが、まず講義を一通り見ました。講義の良いところは、どこが重要なのかを強調してくれるところ。テキストに書いてあるとはいえ、自分では重要箇所の判断ができませんので、倍速ではありますが講義は視聴しました。

<科目別アドバイス> 公認会計士の知識を持っている前提
FAR：今までの知識、経験がどのように英語で表記されているかを意識すればスムーズにいくと思います。あとは大量の英語を処理するということが出来るのが大切。

FAR3の公会計についてはじめてのことですが、ベースとしての知識はあるので、会計に携わっている人間としては普通にやれば問題ないと思います。BEC：私は経済学部だったので、マクロとミクロは英語になっただけだとスムーズに理解できました。ITは知っているか知らないかなので、こういうものなんだなということでも覚えました。深いところまで分かりきっていても問題が解ければ良いと割り切りました。CGについては、平たく言うと正論を探す問題で、それはそうだなと常識で解ける問題ですので、テキストを読んで反復しました。

Written Communicationは、〇×が解ければ良いという知識よりはワンランク上の理解が必要だと思います。平日頃からそういう意識で取り組む必要があるのかなとは思いました。まとも講義で解説してくれたとおり、文章構成力や注意点は重要です。

文章の柱、内容をコンパクトにまとめる力、背景となる知識は日々の勉強から得る必要があります。英語で理解をして、そのまま英文でもって行く。母国語に変換しないということも重要だと思います。私は、模範解答例や各種レジュメを全部まとめて、想定問題集を作ってまとめました。

実際はそんなに的はずせず、問題を見た瞬間「うわーっ…」と思ったのですが、なんとか最後まで粘りに粘って文章を作り上げた結果、ギリギリ75点で合格できました。諦めようと思えばすぐに諦められたのですが、文章を作る練習をしてきたので、最後までしがみついたら1点でも多くもぎ取ろうという気持ちを持っていたのだと思います。

AUD：会計士としては完全に内容が被る科目です。なんの抵抗感もありませんでした。

日本基準とUS基準は、ベースとなる考え方にほとんど違いがないと言えますので、監査論で学んだところが英語でどのように表記がされているかを押さえるという勉強方法を取りました。

問題は、常識的に考えてそれはそうですよ。というものが多くですが、選択肢は〇というより、△が3つで×が1つといったイメージです。

その△の中でどれが一番〇に近いのかというニュアンスを判断する必要があります。

意外と書き込みでAUDの点が伸びないのを見ますが、そういうのが原因なのかと思いましたが。

Beckerの問題集で反復練習をして、ニュアンス・空気感を掴む練習が必要です。公認会計士の方でも苦労する部分はあるかもしれないので、あなでもない方が良いかも知れません。

Beckerは3回転はしました。

REG：ほとんどははじめましての科目。企業法や会社法を日本の公認会計士試験でやっていても、絡むところは株式会社の試験範囲の一部で100点満点中2点3点あるかないかと思うので、BLはテキストは膨大な量ですが、戦略を考えればその中で杉浦先生のおっしゃっているAランクだけをやれば十分合格レベルに達すると思います。

TAXは租税法として法人、所得、消費税の知識はありましたが、日米では申告形態が違います。向こうは個人所得がベースで申告が前提。それに付随して法人税も学ぶという流れですので、法律等の状況も違いました。この範囲も公認会計士の知識が活かさせませんので、一個一個先生の講義を聞いて押さえていくしかありません。内田先生のテキストと問題集はコンパクトにまとまっています。Beckerの重要な問題がTACのテキスト問題集に反映されていますので、必ずしもBeckerをやる必要はないと思います。状況に応じて余裕があれば手を出すのが良いと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受講生情報サイトには手続き書類の記入例や日本語訳があり非常に助かりました。

サイトに書いてある情報に沿って手続きを進めていけば問題なく手続きを進めることができると思います。学歴審査やNTSの発行の際も何のトラブルもなく、スムーズにいきました。

試験中の話ですが、私はテストレットが2つ終わったら、お手洗いと水のみで休憩を取るようしていました。意外と入退出のチェック（指紋認証と金属探知機など）でも時間がかかるのでそこは気をつけたほうが良いです。何時間もパソコンに向かっているの、退出をしない人は、その場で軽く伸びをしたり、目をこらして数分休憩するのも良いと思います。

また、試験会場では、到着して受付をしたらわりとすぐに名前が呼ばれて試験が始まるので、会場で勉強はできないので、それも知っておいたほうが良いと思います。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

英語力がそこまで高くなくても必ず合格できる試験だと思います。USCPAは監査法人だけでなく、いろんな裾野がありますので取得後の可能性・発展性という意味でもおすすめです。

厳しいことを言うのであれば、勉強自体は18ヶ月という縛りがある以上、かなり集中する必要があります。自分も有休を取らせてもらって勉強にあてていたりしたので、片手間で合格するのは難しいと思います。

ですが、勉強すれば必ず受かる試験です。やればやるほど伸びる、努力は必ず報われるという資格ですのでやって後悔はないです。

会計力だけでなく英語力も大きく伸びますし、短時間で大量の英文を読むそして処理するという訓練も試験がなければやることはないと思います。

その経験は今後必ずためになり、合格すれば間違いなく自分の人生にプラスになります。みなさんも合格を目指してぜひ頑張ってください。



3ヶ月ごとの計画をしっかりと立てました。

N.H さん

1978年生まれ

勤務先：メーカー

2013年11月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）

FAR：84点（2013年2月／1回目）、BEC：76点（2013年2月／1回目）

REG：78点（2013年11月／1回目）、AUD：84点（2013年7月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

アメリカ出向となり、日本と関係のない税務や会社法といったアメリカ固有の内容にも業務上触れる必要が出てきたからです。

それに加え、日本の公認会計士知識の復習、英語の学習、時間の有効利用といった副次的な効果もあり、一石四鳥あるいは五鳥のメリットがあると判断し、チャレンジすることにしました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日本の公認会計士

英語知識：TOEIC®TEST 890点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

過去に日本の公認会計士の資格取得時にTACにお世話になっていたため、TACのカリキュラムに間違いはないと思ったこと、また大学の単位取得や受験州の選択なども分かりやすくホームページに説明が記載されていたため受験までの手続きもスムーズに進めることができると判断し、即決しました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

Becker Online演習ソフトを利用できたことに尽きます。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信で学習しました。

学習期間は申込してから1年半です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

（全般的なこと）

全科目を勉強してから受験する方法をとらず、科目合格制度のメリットを活かし、1科目ずつ（最初のFAR、BECは2科目）勉強し、受験することになりました。

社会人なので、あまりまとまった時間をとることができない場合には、1科目に集中して試験勉強が出来るので効率的だと思いました。3ヶ月（12週間）ごとに勉強の計画を立てることが出来ますので、勉強のモチベーションを保つことが出来ました。デメリットとしては予定通りに行かない場合、18ヶ月という期限に縛られてしまうことです。実際自分もAUDが不合格になってしまったときに、焦りを感じました。

（FAR）

企業会計は基本はアウトプットに時間を割き、USGAAP特有の会計処理の部分についてはテキストを読み覚えるようにしました。

政府会計とNPO会計は内田先生のDVD講義の中で知識のインプットに時間を費やしました。

（BEC）

IT、ECOはDVD講義、CGIについてはテキスト、MA&FINは問題を中心に勉強しました。

範囲が広く、当日の試験問題の運にも左右される科目だと思いますので、どんな問題にも対応できるように広く浅くが重要になると思います。

（AUD）

一番簡単そうで、実は難しかった科目です。

一回目は、テキストを読むことで満足してしまい、雑形の暗記を疎かにしてしまったこと、テキストの細かい部分の読み込みが甘かったことが敗因でした。

二回目は、問題を解きながら、テキストの細かいところまで読み知識を再確認するなど心掛けを変えていきました。

（REG）

TAXは、テキストを繰り返し読み、問題を解くことに専念しました。テキストに索引ページが付いていたのが非常に良かったです。間違った問題の見直しやBusiness Entityの共通点/相違点を覚えるのに役に立ちました。内田先生のまとめレジュメは試験前日、当日に読んだおかげで大当たりでした。

Business LawはDVDを全て見ました。杉浦先生の具体例を交えた説明が頭に残り、知識のインプットに役に立ちました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験時のエピソード

BECのWCの問題で、1問目と2問目続けて同じ内容の設問が出ました。最初はそんなはずはないと思い設問読み返しましたが、そんなこともコンピュータ問題ならあり得ると自分自身を納得させ、1問目とほぼ同じ答えを書き込んでいきました。

そういうこともあると思うので、受験生の中でこれから自分の同じような経験してしまった場合、動揺せずに試験に臨めばよいと思います。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

一科目合格してからが勝負だと思います。

18ヶ月の期限でのプレッシャーを感じることもあると思いますが、立ち止まらずに勉強を続けてください。

最後一科目の合格後の開放感を是非体験してみてください。

試験勉強自体、社会人にとって、良い時間、貴重な経験になると思います。

皆様の合格お祈りしております。



東南アジアから USCPA を目指して

福崎 紗甫里 さん

1987年生まれ
上智大学 法学部 2010年卒業
勤務先：専業主婦
(2012年まで銀行で法人営業を担当)

2013年11月 USCPA試験合格 (アラスカ州)
FAR：84点 (2013年11月/1回目)、BEC：77点 (2013年11月/1回目)
REG：83点 (2013年11月/1回目)、AUD：82点 (2013年11月/1回目)

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

主人の駐在に伴い職場を退職しましたが、帰国後に役立つ資格を取りたいと思いました。
英語と会計の力がつくと思い、USCPAを選びました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級に加え職場で財務の基礎は学んでいました。
英語知識：TOEIC®TEST 805点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

海外在住者へのサポートが充実していた事とHPやパンフレットが非常にわかりやすかったため。また、大学の友人がTACで公認会計士試験に合格していたため、非常に良いイメージがありました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

講師の方々、教材、カリキュラムどれをとっても最高だと思います。
事務局の方も質問、相談のメールを送ると常に素早く適切に対応して頂けたので非常に感謝しています。
二度ほど質問メールを送ったのですが、田中先生ご本人からご返信頂いた時は驚きました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

海外DVD通信。
合格までは1年3ヶ月、時間はおよそ800時間でした。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

全般的に

1. 講義視聴
4科目ともまずDVD視聴を一通り。
とりあえずDVDを早く全部見てしまいたかったので問題集はやったりやらなかったりでした。その後、単位取得のためBUで受験した科目はBU試験前に問題集を一巡。ここでFARとBECは基礎をある程度固められたと思います。
2. 本試験対策 (MC)
DVD視聴が全て終わってから、本試験対策として、BEC、AUDはTAC問題集を1周→BeckerのMCを2周。FAR、REGは実はBeckerのMCは回さず、その代わりにTACの問題集を2周（講義の時を合わせると3周）。
BeckerのMCは各科目1,500問くらいあるので、それよりもTAC厳選された問題をしっかり身に付けた方が良さそうだったからです。(FARとREGは問題集にも相当数掲載されていたので)
逆に、BECとAUDは問題集に載っている数が絶対的に少ないのでBeckerのお世話になりました。
3. 本試験対策 (SIM&WC)
SIMは内容が難しい訳ではなく、基本を押さえればOKで、解答方法に慣れておけば大丈夫だと思っていたので、TACのSIM対策&総まとめ講義を見た後にBeckerのSIMを1周しましたが、それで十分だったように思います。

細々としたことをやるより、やはりこの試験は重要論点を理解しているかが大切だと思います。

WCはWC対策&総まとめ講義を見て、講義の中で演習して、あとはBecker Final Exam1に入っている3問を解いただけです。

ノンネイティブの私がネイティブの人々に並ぶつもりで英文論述なんて無理なので、先生のおっしゃっていた通り①問題文をしっかり理解して②形式を整えて（文法を含む）③論旨をずらさないことだけを意識しました。

直前に主人（彼はオフィスでは英語で仕事をしています）にFinal Examの私の解答を見てもらって、言い回しや文法間違いを指摘してもらえたのはとても助かりました。感謝しています。

4. 直前期（リリース問題&Final Exam）

上記の後に、AICPAリリース問題2010～2013とBecker Final Exam1を解いて、試験に臨みました。AICPAリリース問題は本試験でも似た問題がいくつか出たので、絶対に数年分解いておくべきです。特にまだBeckerに収録されていない直近の2年分はマストです！

ちなみにBecker Final Examは他の方も仰っているように本試験より難易度が高く作られているようで、私の正答率はFAR:65%、BEC:58%、REG:69%、AUD:69%でした。

時間配分を確かめるのに活用するという感じだと思います。

科目別に触れるとすれば、

FARはスタートから草野先生にガッツを頂きましたし、NPAの内田先生のまとめは非常に秀逸でした。そのおかげで得点源にする事が出来、結果として高得点で合格出来たと思います。

BECは非常に範囲が広く、演習の時等何から手をつければ良いかわからなくなりそうでしたが、TACの教科書の理解とBeckerを回すという基本的な事をしっかりやれば大丈夫でした。

REGはやはり内田先生のまとめが素晴らしかったです。各要点についてももしっかり強調して教えて下さったので、演習時にも逐一思い出すことが出来ました。また、BLは杉浦先生のおっしゃったA論点とTAC問題集で間違えたところをまとめたノートを自作し、活用しました。配点が低いため時々BLの学習を捨てている方がいますが、非常にリスクなのでA論点だけは押さえるべきだと思います。

AUDは田中先生のご説明も教科書も非常にわかりやすくまとめられていたので、苦手意識を持つ事無く取り組みました。2013年7月以降の改正点も別途用意されたレジユメのみで十分対応出来ました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続はTACの手続要項に則って進めたので、特に問題はありませんでした。

大学の成績証明書が旧姓でしか発行出来なかったのですが、その時の対応もしっかり資料になっており、また、E-mailで問い合わせた際にもスピーディーに対応頂けたので助かりました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

TACで提供されている教材（Becker教材含む）を用いれば、他のものに手を出す必要は全くなく、一度で合格することが十分可能です！

そしてUSCPAは「何を解いたか」ではなく「いかに正しく理解し覚えたか」が問われる試験だと思います。

受験生の皆様、頑張ってください。



諦めない気持ちがあれば必ず合格できます。

東間 洋介 さん

University of North Texas 卒業
勤務先：国際航空貨物輸出入

2013年11月 USCPA試験合格（ワシントン州）
FAR：78点（2013年5月／2回目）、BEC：77点（2013年1月／2回目）
REG：77点（2013年5月／1回目）、AUD：86点（2013年11月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

米国の大学で会計学を専攻。卒業後、学んできたことの総まとめとしてU.S.CPA受験を決めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

英語力はTOEIC900点程度、会計学専攻だったため会計用語を含め英語に対する不安はほとんどありませんでした。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

米国で評判の高いBecker教材を取り入れ、さらに日本語解説を含めた豊富な教材・演習問題が決めた理由です。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

講師陣及び教材の質の高さです。特にFAR草野先生、FAR®内田先生の授業はとてもインパクトがあり、受講生をやる気にさせてくれる興味深い授業でした。教材については無駄を無くし重要論点にフォーカスを絞ったテキスト及び日本語解説付きの問題集、本試験さながらのBecker問題集など満足の内容でした。また、受験全般に関しては受講生サイトがとても役に立ち、頻繁に利用しました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD(通信)コースを受講しました。学習期間は約2年半で1科目目のFAR合格から期限の切れる18か月ギリギリで全科目合格しました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

全般：DVDを1.5倍速で視聴後、テキストで復習。テキスト一冊分が終わったところでTAC日本語解説付き問題集を解き、1科目分終わったところでBeckerの問題を解く(PC)。その後直前対策講義を視聴し、弱い箇所については再度テキストを読む。Beckerの正答率90%に近づくように繰り返し問題を解き(実際に90%まで達したのはAUDのみ)、仕上げのFinal Exam、及びAICPAリリース問題を解くといった流れで学習しました。

FAR：元々FARは得意だったということで油断をしてしまい、初回受験では67点で不合格。この時に学んだことは予想よりも公会計に関する出題が多かったことです。そこで役立ったのが内田先生の直対まとめでした。授業で内田先生が繰り返し言っていたのですが、確かにこの直対だけを覚えれば公会計はかなりの得点源です。また、草野先生の授業は毎回楽しく、もっと授業を受けてみたいと思わせてくれる内容でした。FARについてはBeckerを一切使わずにDVD視聴、テキスト及びTAC問題集のみで合格しました。本音を言うと、まったく試験の手応えはありませんでしたが合格していました。

BEC：とにかく受験範囲が広いので、浅く広く覚えることを心がけ、わからない箇所があったとしても、長い時間をかけずにとにかく早く出題範囲を1周終わらせるように心がけました。また、暗記項目が多いので他の科目にくらべてテキストを繰り返し読みまし

た。Written Communicationに関しては例題を何回も解いて、出題の形式に慣れる練習をしました。1回目の試験ではWritten Communicationに時間を取りすぎてしまい不合格になったので、2回目はMCを中心に勉強し、なんとか合格することができました。

REG：杉浦先生と内田先生の授業は出題されやすい重点箇所をフォーカスを絞った内容となっていました。DVD視聴後、問題演習(厳選問題集)、Becker問題(Homeworkのみ)という流れであったさり一発合格できました。内容的には難しく感じましたが、最もすんなり合格出来た科目です。暗記も必要な科目で、両先生が強調して話しているところはかなりの確率で出題されました。また、TAXのFORM集についてはFORMをプリントアウトして、実際に手を動かして記入することで理解が深まりました。

AUD：初めに合格したFARがExpire目前というプレッシャーを受けながら受験した科目です。また、4科目の中では最も時間を費やし、苦勞した科目でした。BECと同じく暗記重視の科目で、さらに英語の読解力が最も必要とされた科目であり、この科目のみBeckerの英文テキストも読みました。英語から逃げないことがこの科目の攻略法だと思います。また、FARの知識も必要になってくるので、受験の順番を考慮したほうがよいかもしれません。私の場合ははじめにFAR、最後にAUD受験だったので思い出すのにかなり苦勞しました。また、様々なタイプのAudit Reportを繰り返し読み、それぞれの特徴が即座に思い出せるよう準備しました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続：学歴審査等はスムーズに行うことができました。しかし、受験料を払ってからNTSが届くまでの期間に差があり、2,3日で届くこともあれば2週間近くかかることもありました。そういった場合は、メールで問い合わせることで比較的早くレスポンスをもらうことができました。もし何か気になることがあれば早めに連絡することをおすすめします。

受験時：全科目合計7回受験をしましたが、最後の最後まで受験の手応えと結果が結びつかない試験でした。難易度変化の関係もあるとは思いますが、全然出来なかったと思っていたのに合格していたということが何度もありました。試験を受けたら結果が出る前でも迷わず次の科目の勉強に取り掛かることをおすすめします。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

1科目目が合格してからが本当のスタートだと思います。「18か月もあるから大丈夫」という考えはおすすめしません。私もそういう考えで勉強を進めていたのですが、あっという間に時間が過ぎ、最後の2か月はExpireが迫っているプレッシャーとの闘いでした。時間には余裕をもって4科目合格までの予定を立ててください。

社会人の方にとっては仕事との両立が大変だと思いますが、気持ちで負けなければ必ず合格できます。私も何度も諦めそうになりましたが、「ここで諦めたら諦め癖がついてしまう！」と自分自身に言い聞かせて最後まで走り抜けました。モチベーションの維持、そしてTACとBeckerを信じて最後まであきらめずに頑張ってください。

最後にTACの先生方、通信だったので直接お会いすることはできませんでしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。



最後の一つはモチベーションを保つこと

依田 哲弘 さん

1969年生まれ
明治学院大学 経済学部 1994年卒業
勤務先：シェアードサービス会社

2013年11月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：81点（2013年5月／5回目Expire1回）
BEC：77点（2013年10月／10回目）
REG：79点（2012年11月／4回目）
AUD：78点（2013年11月／3回目Expire1回）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

食品の輸入販売事業に従事した際、現地サプライヤーと契約交渉に参加する機会がありました。この時、世界標準で通用するビジネススキルを身につけたいと思いUSCPAを選びました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級、プロフェッショナルCFO、グローバルCFO
英語知識：TOEIC®TEST 400～500点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

簿記2級、プロフェッショナルCFO、グローバルCFO受験の際、TACにお世話になりました。特にCFO試験の様なレアな試験に関しても、合格に必要な情報を提供していただいたので、TAC以外の選択はありませんでした。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

Becker教材を採用していること。これに尽きると思います。BECについてはWILEY、BISK、GLEIMもやりましたが、もっとも解説が丁寧で問題数が多かったのがBecker問題集でした。
講師は内田先生が印象に残っています。生徒が覚え易いように問題集とテキストの構成を考えていただいているなと感じました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信DVD講座。合格までの学習期間は4年8ヶ月。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

本科生に入学して、FAR・BECの講義が終了してからREG・AUDは受講せず、FAR・BEC同時での受験を開始しました。当時は日本で受験ができませんでしたので、ハワイで受験をしました。4回目でFARが合格してからは2～4ヶ月に1科目ペースで受験しました。

勉強方法としては4科目共通していますが、講義でテキストの要点を確認し、講義が全て終了した後は、毎日テキストを持ち歩き1日で全範囲に目を通しました。例えばAUDなら2冊持ち歩き通勤時間を利用して1冊を15～30分分で乗車時間に合わせて確認しました。基本的に「毎日」全範囲に触れますので一端理解したことを忘れてしまうことはありませんでした。

また講義と並行してBecker問題集にも取り組みました。こちらも全科目最初に正解に丸をつけてしまい、問題を読んだら解説は読まず丸をつけた正解を読み、即次の問題に進む形をとりました。1問飛ばして読むと2～3日で全範囲をカバー出来、1科目約1,500問程度なら1週間では一回は読むことが出来ます。ただし、どうしてもわからない問題だけ解答解説を読むようにしました。この問題集の取り組み方はかなり特殊ですが、MCへの抵抗感を早期解消する為には有効でした。

最もこずってしまったBECについて。

10回目の受験でやっと合格しました。BECのせいでExpireを2回経験し長期の受験生活になったと言っても過言ではありませんが、実は私の中で最も好きな科目であり、初回受験から毎回発表までは合格を確信していました。

最初はMCのみでしたが途中から恐怖のWCが導入されました。WC導入後3回はMC一本でWCは白紙受験をしましたが67～71点で不合格でした。その後MCだけでは無理だと思いTACの模範解答やWILEY、BISK、GLEIMなどの例文を20本位丸暗記で挑みましたが点数にあまり変化はありませんでした。

そこで、10回目の時、英語の得意な妻の友人に私がどんな感じで解答しているのか見てもらいました。

まず英文レターの基本的な形式になっていないことを指摘されました。また丸暗記での私の解答が出題者の求めるポイントを外していることを指摘され、どんなに稚拙な英語でも出題者の求めるポイントに触れる様アドバイスを受けました。

WCが苦手な私はとにかく答案を埋めることに気を取られていましたが、最初から2～3点取れば良い程度のWC対策と割り切れれば、それほど恐れることはなかったのかもしれない。英語が苦手であっても、WCを白紙で出されるのはリスクが大きいです。満点を取る必要はありませんので、多少の対策はした方が良いでしょう。

試験後の感触は、10回の受験で一番悪くダメだと思ったのですが、合格していました。試験はできたと思った時よりもできなかったと思った時の方が案外合格している可能性が高いのかもしれない。

ちなみに長いBEC受験の中でBecker問題集は感じとして100回単位はやった感があり、もはや新鮮味が無くなってしまったので日本で入手可能な全ての問題集（WILEY、BISK、GLEIM）に手をつけました。ただ、この中でBeckerが最も問題集が多く、解答解説も最もわかり易く良い問題集でした。あえてBecker問題集にリクエストがあるならば、GLEIMの様に左ページに問題、右ページに解答解説の方がページをめくる手間が省けるので電車の中でも取り組み易い点でしょうか。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

長い受験生活を続ける上でモチベーションを保ち、質の高い勉強時間をいかに長く持てるかが私の場合、最後に課題となりました。

私の場合その特効薬は「運動」でした。勉強を開始する前に運動してから勉強に取りかかりました。合格直前の約1年は勉強前に必ず運動を行い、10回目のBECや最後の科目となったAUDの試験当日も試験直前2時間前にジムへ行きました。おかげで試験中全く見たことがない問題が出た時でも、冷静・前向きに集中力を切らさず取り組むことが出来ました。こんな生活を続けたせいで身体も随分引き締まりました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

USCPAに合格する為には、「何を」、「どこで」、「どんな気持ち」で勉強に取り組むかがカギになると思います。最初の2つはTACが提供してくれました。テキストや問題集はTACを信じて取り組みれば何の不安もありませんし、学習環境も最高のものがTACにはありました。残る一つは質の高い勉強をするためにいかにモチベーションを保つことが出来るかにあります。私は16回の不合格、2度のExpireを経験し辛い時期もありましたが、モチベーションを保つ方法を、USCPA受験を通じて見つけることが出来たからこそ最後には合格を手にすることが出来たのだと思います。

これからUSCPAを目指すみなさんも自分にとってのベストな勉強方法やライフスタイル、リフレッシュ方法を見つけ出し、自分を信じて是非USCPA合格を手にして下さい。



折角だから勉強を楽しもう。

白川 武史 さん

1981年2月生まれ
学習院大学 卒業
勤務先：会計事務所

2013年11月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）
FAR：89点（2013年5月／1回目）、BEC：75点（2013年7月／2回目）
REG：85点（2013年11月／1回目）、AUD：86点（2013年8月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

将来のキャリアを考えた時、必要な資格と考えた為。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記1級
英語知識：TOEIC®TEST 680点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

大学時代から日商簿記等でお世話になっていた為、迷うことなく選ばせて頂きました。ベッカーとの提携も魅力的でした。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

通学DVDでしたが、FAR草野先生、AUD田中先生、REG内田先生の講座は楽しく拝見させて頂きました。REGの直前対策まとめは最高でした。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通学DVDです。
学習期間は2012年11月から開始した為、約1年間です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

[全般]

DVD視聴後、TAC日本語テキストに一通り目を通しました。その後、ベッカーの問題集を2～3回転させました。問題集の答え合わせの際はテキストを横に置いて知識不足・理解誤りの部分を即確認するようにしていました。Multiple Choiceは理解を深める為、紙ベースとPCのベッカー問題集を、TBSは形式に慣れたかった為、PC上で解くようにしました。Multiple Choiceを解く際、特に一回転目は解ききる事を念頭に置いたため、時間を計ること無く解答もじっくり読んで進めました。その為、問題によっては10分以上掛かる問題もありました。ただ、問題を解く事で知識が整理されていくのを感じました。

[科目別]

<FAR>

日本語テキストを一通り読んだ後、ベッカー問題集を一度解き、間違えた問題については二回目を解きました。TBSは本試験一か月前に問題の形式を知りたかった為、PC上で一度解き、初見でどの位解けるかを試しました。IFRSや政府会計もしっかり勉強しました。本試験でも結構出たので侮れません。

<BEC>

日本語テキストに加え、ITについてはベッカー英語テキストを読みました。その後、Multiple Choiceを最低二回転、二回とも間違えた問題は三回目も解きました。Written Communicationはビジネスメールの書式を覚え、難しい表現は使わず書くことを心掛けました。会計士として、もしくは、社内Accountantとして意見を求めら

れ、それに対する回答を書く為、勉強していて面白い科目でした(点数はボーダーラインですが)。

<REG>

TAXは内田先生の直前まとめと厳選問題集につきます。日本語テキストを一度読んだ後は、ひたすら直前まとめを読み、厳選問題集を二度解きました。

Business LawはUniform Act・会計士の責任・代理の箇所の日本語テキストを数度読み、該当するベッカー問題集を解き、AICPAのリリース問題集も解きました。範囲が膨大なので、杉浦先生が教えて下さったAランクを中心に読み進めました。

<AUD>

唯一、ベッカーの英語テキストを全体的に読んだ科目です。また、ベッカーテキストには種々の監査レポートが掲載されているので雛型を覚えるのに役立ちました。理論を英語で理解する必要がある為、楽しみながら勉強していました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

[受験手続]

FACSへの学歴審査では結果が届くのに三カ月（2013年1月に申し、同年4月に結果を受領）掛かりました。また、受験する意思決定時、会計単位が足りなかった為、ブラッドリー大学で追加単位を取得しました。その後、日本の大学とブラッドリー大学の両方の学歴結果がしっかりニューハンプシャー州に届いているか不安でしたが、無事届いていたので安心しました。その後の受験手続はTACサイトを参照しながらスムーズに進める事が出来ました。

[本試験時の難易度変化]

「気にせず、目の前の一問一問に集中する」というのが本試験を解いて感じた事です。AUDでは、テストレット3で「えーっと…」という位、基本的な問題ばかりで、問題が易しくて凹むという何とも言えない気持ちで問題を解いていましたが、合格していたので気にしなくて良いのだと思いました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

毎日1時間でもいいので、勉強することが大切だと思います。特に社会人の方は限られた時間の中で勉強時間を捻出しなければなりません。毎日の積み重ねがモノを言うと思います。また、勉強が辛くなった時は、何の為にUSCPAを勉強しようと思ったのか思い出して下さい。何よりモチベーションが勉強を継続できる源であると思います。

TACとベッカーを信じて、突き進んで下さい!!!



モチベーション管理、これにつきます

K.K さん

勤務先：企業調査、マーケティング調査

2013年10月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）

FAR：93点（2013年4月／1回目）、BEC：87点（2013年5月／1回目）

REG：92点（2013年10月／1回目）、AUD：88点（2013年7月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

入社後に配属された部署では日常業務で海外企業の英文決算書を扱っており、英文勘定科目の知識をつける必要があると感じました。また、社内には中小企業診断士をはじめとした資格ホルダーが多くいますが、USCPAを持っている人はいないので差別化を図るという意味も含めてチャレンジすることにしました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記2級

英語知識：TOEIC®TEST 990点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

他のスクールもいくつか見て検討しましたが、講義内容・不足単位の取得・受講料などの面から総合的に見て最良だったのがTACでした。友人がTACに通っていて講義の様子を事前にヒアリングできたことも大きな理由でした。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

USCPAの本番の試験を受けて改めて感じましたが、講師の方々のポイント解説が非常に適格でした。ざっくりと概念だけ覚えておけば良い論点と細かい内容まで記憶すべき論点のコントラストをはっきりと、そして適格に示していただいたおかげで効率的に勉強を進めることができました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通学（講義出席と通学DVDを半分ずつぐらい）

学習期間は約1年半（約1,200時間）

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

学習方法は大きく分けて講義受講・問題集・まとめノート作成の三つです。講座受講を開始した2012年4月から12月ごろまでは各科目の講義を聞いてTACの問題集を解くという流れでした。年が明けてから、2013年4月～5月ごろの受験を見据えてFARとBECのBecker問題を解き始めました。Beckerは各科目とも3～4回転ほどです。1回転目は1問目から順に全問解き（Optionalは除く）、間違えたものにチェックを付けておきました。2～3回転目はチェックを付けたもののみ解き、4回転目は再び全問解きました。念には念を入れた進め方かもしれません。5月のBEC受験が終わってからAUDのBeckerを開始し、7月のAUD受験が終わってからREGの

Beckerを開始しました。まとめノートはTAXの内田先生のもの参考に、テキストの復習の意味を兼ねて受験する1ヶ月前ぐらいに各科目とも作成しました。ただし、まとめノート作成作業は短時間でやると相当骨が折れるので、講義を聞きながら作成を進めていけばよかったですと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

学歴審査で躓きました。BradleyのTranscriptと英文成績証明書を送付したものの、一向にNTSが届かず、NASBAへ問い合わせたところBradleyのTranscriptが届いていないから審査が進んでいないとの回答。至急Transcriptを再送してもらい、NTSを受領することができましたが、メールに対するNASBAのレスポンスが遅く、問い合わせからNTS受領までに1ヶ月近くかかりました。珍しいケースではないようですのでApplicationのステータスをまめにチェックしておき、進んでいないと感じたら早めにコンタクトを取ることをお勧めします。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

私の場合は受講開始から合格まで約1年半かかりました。長丁場の取り組みですので、当然モチベーションの高い時期もあれば低くなってしまいう時期もあります。月並みな話ではありますが、モチベーションが低くなりがちな時期にいかにも勉強を切らさず、毎日少しずつでも続けられるか、ということにかかっていると思います。問題を1問でも解くのと、全くゼロで何もしないのとでは雲泥の差があると感じます。一緒に取り組んでいる仲間を見つけることも大事です。知識の有無や飲み込みの速さ以上に、モチベーション管理を適切に行って学習を継続できるか否かがキーだと、実際に終えてみて改めて感じます。これが今後合格を目指す方々へ伝えたいことです。



10年後の自分を信じて

関口 義雄 さん

1979年生まれ
横浜国立大学 経済学部国際経済学科 2002年卒業
勤務先：外資系金融機関 資産運用コンサルタント

2013年5月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）
FAR：87点（2012年11月／1回目）、BEC：79点（2013年2月／2回目）
REG：76点（2013年5月／1回目）、AUD：81点（2013年2月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

これまで証券・銀行において個人金融営業職一本で10年間働いてきましたが、自分自身の将来のキャリアの選択肢を広げたいと思い、英語と会計を同時に学べるU.S.CPA試験合格を目指すことにしました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：ゼロ
英語知識：学習前 TOEIC：565点
合格後 TOEIC：690点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

資格取得に詳しい友人がすでにU.S.CPA講座受講の為にTACと某資格学校を比較検討しておりました。友人によると、CPA受験において米国最大手のBeckerテキストを利用できることと、受講料が比較的リーズナブルだという事で友人はTACにするつもりとのことでした。私はその友人をとて信頼しておりますので、自分もTACで学習することになりました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

1番はやはり、講師の方々の人間的なレベルの高さです。本当に素晴らしい先生達があります。具体的に申しますと、「私の心を動かしてくれた」先生達だという事です。

2番目はBeckerです。Becker教材で受験対策が出来ることで、確実に合格レベルまで達します。ただし、Beckerはあくまで基礎が出来ている人が取り組み、75点以上の合格レベルまでスコアを上げる為のツールだと個人的には考えています。ですから「知識の基礎の部分」はTACの講義や教材（TACオリジナルテキスト・問題集）で作っていくこととなります。この基礎を作る上でTAC講座の完成度は本当に高いので、安心して「知識の基礎の部分」を固められると思います。

3番目は、TAC斎藤社長の「これからの私」を拝読できた事です。「自由自在」という言葉の意味は、「自らに由りて、自らが在る」ということ。自分の力で社会に立ち、自分の力で生きていく事。すなわち職業専門家（プロフェッション）としての人生観を学びました。

最後にこの場をお借りして、お礼を申し上げます。直接指導いただいたFAR草野先生、FAR/REG小泉先生、MA&FIN阿辺先生、そしてAUD帆足先生、本当に感謝しています。ありがとうございました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信コースでしたが、後半のREGからはフリーパス制度を活用し、ほとんど全て生講義に参加しました。

2012年1月スタートですのでちょうど一年半で全科目合格することができました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

合格する為に、最も大切な事は自分にあった学習法の確立とモチベーション維持の方法だと思います。以下の内容にて私の学習法とモチベーションの維持についてお伝えします。

まず学習法についてですが、まずはTAC推奨の学習の進め方を信じて取り組みました。

少し迷いが出てきた時には、阿辺先生に直接学習法の相談に行きました。また受講生同士で自分の学習法について情報交換しながら、より自分に適合した学習法を探索して行きました。大切な事はあくまで「自分に適合した学習法」を早期に見つける事です。私は早期に単位認定試験を受験し、本試験も早期に受験しました。一科目でも合格出来れば、自分の学習法が正しい事の証明になる訳ですから、一科目合格出来たら、後は自分の学習法に信念を持って継続学習するだけです。

次にモチベーションの維持についてですが、「U.S.CPA試験に合格した後の自分」を常にイメージしながら日々を過ごしました。CPA試験に合格する事が目的では有りません。CPA試験に合格する事はあくまで手段でしか無く、目的はCPA試験合格後に、自分がどうなりたいのか？ どういう人生を歩みたいのか？ 自分は何を成し遂げたいのか？ です。

スマートフォンでほぼ毎日、日本、そして世界で活躍している米国公認会計士の方を検索し、「自分なら出来る、合格して必ず活躍するんだ」とイメージしながら勉強しておりました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続は全てスムーズに行きました。TACの米国公認会計士専用サイト上に、手続きに必要な情報は全て完璧にそろっていましたので、安心して受験勉強に専念できました。

私は全て日本受験でしたので、受験時もトラブルはありませんでした。

一つアドバイスとしてお伝えしたい事は、受験要件に対して単位が足りない方は出来る限り早く単位を取得することをお奨めします。単位取得を後回しにするといつまで経っても受験が出来ませんので、自分を追い込む為にも、講義でFARとBECが終わる頃には必要な単位は取り終わっている位のペースが良いと思います。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

U.S.CPA試験は、英語力が無くても、会計知識がゼロでも、必ず合格出来る試験です。「合格したからって偉そうに言うな」、という突っ込みが聞こえてきそうで怖いですが…。ですがもう一度お伝えします。U.S.CPA試験はどんな人でも必ず合格出来る試験です。そして合格すると、自分の人生に間違いなく大きな影響力を及ぼします。是非チャレンジして下さい。そして必ず合格しましょう。



受からなければ意味がない、という気持ちで臨むことが大切だと思います。

T.N.さん

2013年8月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：76点（2012年2月／3回目）
BEC：76点（2013年7月／5回目）
REG：85点（2013年8月／2回目※）※1回目Expire
AUD：88点（2013年4月／3回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

仕事でIR業務をしており、会計について一通りの知識はあることを、社内だけでなく投資家等の社外に対して示すのに適した資格だと思ったからです。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級
英語知識：TOEIC®TEST 900点程度

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

簿記2級の講座をTACで受講し、よかったため。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

REGの内田先生、杉浦先生の講義や、Beckerの教材が素晴らしいかったです。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

もともと通学で受講しておりましたが、ちょうどその頃仕事も忙しく、あまり出席できませんでした。結局通信で再受講する形になりました。初回の通学コースの申込から合格まで5年以上かかってしまいました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

基本的には、講義を聞く→Beckerの問題を解く→解けなかった問題については解説を読む→さらに解らなければテキストを読み返す、の繰り返しです。

解けなかった問題はマークをしておき、2回、3回と解きなおしました。AUDの田中先生もおっしゃっていましたが、この試験は穴を作っては受かることができないので、網羅的に勉強し、苦手分野をなくすことが大事だと思います。

FAR、REGについては出題範囲が広いせいか、正答率の割には比較的点数が出やすく受かりやすい科目だと思います。REGのTAXは内田先生のまとめノートが素晴らしいかったです。REGは範囲が膨大なため、ネイティブの受験生も苦労するそうですが、まとめノートには重要な論点が凝縮されていて、かなり効率的に学習することができました。また、BLについてはあまり時間がなかったことから杉浦先生のおっしゃるAランク論点を中心に勉強しましたが、それで充分だったと思います。

AUDは苦労しました。学習する内容としては量が少ないため油断していましたが、点数の出づらいい科目だと思いました。かなり高い正答率でないと合格できないのではないのでしょうか。田中先生が監査手続きなどについて具体的に説明し

てくださったので、イメージしやすく理解するのにすごく役立ったと思います。また、Audit Reportなどのひな型は一通り覚ええました。

BECが一番苦労しました。残念ながらBeckerの問題と実際の試験での出題傾向はずれているように感じました（特にIT）。テキストをよく読み、内容の理解に努め、なんとかぎりぎりの点数で合格することができました。WCについては難しいことを書けなくても文の構成がしっかりしていればよいと思います。基本的にはコンピュータによる自動採点だと聞きましたので、文の構成（フォーマット）がしっかりしていて、出題内容のトピックのキーワードを書くだけでも部分点はもらえるのではと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続については、TACの受講生サイトに記載されているとおりに手続きを行い、特に問題なくスムーズに行うことができました。ただ、私はメイン州に出願しておりましたが、科目合格の段階でメイン州の受験要件の引き上げがあったため、科目合格が無効になり、他の州に再出願しなくてはいけなくなるかもしれない状況になってしまいました。しかし、TAC側からの強い抗議のおかげで、科目合格者に対しては旧受験要件で受験の継続が可能となり、大変助かりました。その節はありがとうございました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

私は合格まで長い時間を費やしてしまいましたが、他のことはある程度我慢し、短期集中して合格を目指す方がいいと思います。よく受験要件が変更になったり、試験内容が変わる試験でもありますし、長期間になれば集中力やモチベーションも落ち、なにより時間とお金ももったいないです。私自身だらだらと勉強を続けていましたが、合格できなければ意味がないと思い直してから、集中して勉強し全科目合格することができました。長い間勉強しているけれどなかなか結果が出ずくじけそうになっている方、これまでの努力を無駄にしないためにも、必ず合格するという強い気持ちで取り組んでみてください。

また、1点や2点足りず合格できない場合、実は合格者とは大きな違いがあると思います。たかが1点と思わず、これまでの学習方法をもう一度見直してみてください。苦手分野があると、その分野が足を引っ張ってしまい、他の分野が良くできていても合格できないことがあります。スコアレポートをよく分析して今後の対策を考えてみてください。行き詰ったときなどにはTACの講師陣、スタッフの方に相談するのも大変有効だと思います。みなさまの合格を心よりお祈り申し上げます。



試験のプランニングが大切です。

宋 喆 さん

1983年生まれ
上智大学卒業

2013年8月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：82点（2013年5月／3回目）
BEC：79点（2013年8月／2回目）※1回目expire
REG：79点（2012年4月／2回目）
AUD：90点（2013年7月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

何か資格を取りたいと考えていて会計系の資格に興味がありました。日本の公認会計士も考えましたが、自分が外国人ということや合格率もふまえるとUSCPAの方が合格しやすいだろうということや、USCPAの方が将来的に英語も活用できるということでUSCPAにチャレンジすることにしました。

また、アメリカ育ちの日本人の友人がいるのですが、その方がUSCPAにチャレンジしていて、その影響もありました。

自宅だとやる気が出ないことが多かったので、平日も休日も常にPCを持ち歩いていつでも勉強ができるようにしていました。

ほとんど1人で勉強をしていましたので、精神的にはつらい時期もありました。

ですが、ここで止めてしまったら今までの時間ももったいないので、絶対に合格すると決めて最後までがんばりました。

一番苦手だったのはFARで、得意だったのはBECとAUDです。

Becker教材は一通り問題を全部解いて、分からないものはノートにポイントを書いて、なぜ間違えたのかをまとめていました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：特にありませんでした。

英語知識：TOEIC®TEST 840点

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験はグアムと日本で受験をしました。

グアムは周りの方は観光なのに、私は試験だったので精神的につらかったです。

日本受験も良いのですが、旅行と絡めてグアムやハワイで試験ができると良いのかなと思います。

グアムで試験をした時は、免税店でショッピングを楽しむに試験をがんばりました。

グアムのテストセンターはかなり寒いので、上着を持っていったほうが良いです。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

Beckerと提携しているというのが大きかったです。

アメリカの試験なので、やはりアメリカの大きな受験対策校と提携しているというのは魅力的でした。

また、友人がTACで不動産鑑定士講座を受講していて、その評判を聞いていたのでUSCPA講座も同じように良いだろうということでTACを選びました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

内田先生の講義が一番良かったです。まとめが一番充実していたと思います。

やはりBeckerの教材は良かったです。全部で3回くらい問題集を解きました。

TACの授業の量は、全部でインプットが100回近くありましたが、私にとっては丁度良かったです。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

早い時期から勉強をするのがおすすめです。

もし学生時代から始めれば、全科目合格をしていなくても入社時点で同期よりも知識がありますので、かなりアドバンテージがあると思います。

あとは、試験のプランニングをきっちりするのが大切だと思います。私は1回expireを経験しもう1回試験を受けなければならなくなってしまいました。

これは精神的にかなりきつかったので、仕事と両立されている方はいつ受験をするかをきちんと決めてexpireをしないようなプランニングでがんばるのが良いと思います。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信DVD講座で勉強をしましたが、フリーパス制度を使い教室にも通いました。

合格までの期間は全部で3年くらいです。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

平日は、会社の近くのカフェで2時間くらい勉強をしていました。

私は朝が苦手でしたので、休日も午後2時くらいから勉強を開始し、休憩を挟みながらですが9時くらいまで勉強をしていました。



1点の壁に苦しめられた BEC

R.K さん

中央大学博士前期課程 2003年卒業

2013年7月 USCPA試験合格（メイン州）

FAR：77点（2012年4月／1回目）、BEC：76点（2013年7月／4回目）

REG：79点（2012年4月／1回目）、AUD：83点（2012年11月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

夫の仕事の関係で海外に居り、その期間に日本での震災などが起こったことがきっかけです。子供たちの為にも海外で自分が働くことを真剣に考えようと思い、USCPAの勉強を始めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

TOEICなどは受けたことがないので英語のレベルは分かりません。会計の知識は日本の税理士の資格があるので、ある程度ありました。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

税理士を勉強していた頃から知っていて利用させていただいたこともあるので信用があったことと、海外からの申し込みに関して詳しくHPに記載されていたので選択しました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

Web講座を受講していたのですが、科目ごとに講師の先生が違い、それぞれその科目に特化して、講義をしてくださったのが良かったです。どの先生も、生徒を励ましながら、時には受験当時のエピソードや試験の形態などの話も交えて講義をしてくださったので、周りに同じ境遇の友人がいない私にとっては、とても為になりました。

また、TAXの内田先生は、非常に熱心に教材を工夫されていて、そのお陰で、Beckerの分厚い教材を開くこともなく、合格することができ、感謝しております。

BECの学習で行き詰まって、担当者の方に相談に乗ってもらうこともできましたし、メールでのこちらの細かい質問に関しても丁寧に回答していただいたのが良かったです。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信で勉強しました。特に仕事もしていなかったのですが、合格まで2年かかりました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

基本的にはどの科目も、TACの講義を聞き、聞いてすぐに、関係のあるTACの問題を解きました。それだけでも、平均1科目につき、2.5ヶ月位かかりました。

FAR、REGに関しては、既に知識があったということと、内田先生が必要な問題を抜き出してくださっていたので、Beckerの問題は基本的には解きませんでした。FARのどうし

ても苦手な分野とBusiness Lawの分野だけ、Beckerを解くようにしました。その結果、点数は伸びませんでした。1回で、合格することができました。

AUDは予備知識が全くなかったため、教科書をじっくり読み、TACの問題集の他にBeckerも3回解くようにして、試験までの準備に時間をかけました。問題を解くだけで、2ヶ月弱かかったと思います。

BECは3回も失敗をして、大変苦労した科目です。そのうち2回は74点で落ち、「もう受からないのではないかと正直思いました。学習方法としては、AUDと同じようにTAC以外にBeckerを3回解いて試験に臨みましたが、何度も失敗しました。WCも家庭教師に添削してもらったりしましたが、特に効果はありませんでした。最後はWCの学習をせずに、とにかくMCで9割を取ることを目標に学習しました。試験範囲が広範なので、コーポレートガバナンスやITに関しては、TAC、Beckerに限定せず、できるだけ多くの問題に触れるように努力した結果、何とか合格することができました。1点の壁は思っていた以上に厚かったです。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験している間に2回も引っ越したので、オンラインから住所のアップデートの手続きをしたのですが、NTSに反映されていないという出来事がありました。急いで連絡して訂正してもらいましたが、変更などをした場合には、正規の手続きをしてもダブルチェックをされた方が懸命だと思います。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

1年半というのは、思っている以上に早く過ぎてしまうので、極端な話、苦手な科目がある場合には、苦手な科目から受験する位にしておかないと、精神的にも追い込まれる試験だと思います。私はBECで大変な思いをし、「このまま受からなかったどうしよう？」と悩みました。それでも、他の多くの方がおっしゃっているように「あきらめない」という気持ちで、最後は合格に結びついたと思っています。私の場合は、幼い子供達と夫の助けなしには、合格はできなかったと思います。皆さんもどうか、周りの方に感謝しつつ、最後まで、あきらめずに頑張ってください。ご協力ありがとうございました。



TACのおかげで3Q連続科目合格できました！（AUDのみ他校で合格）

井口 明子 さん

香川大学 経済学部経済学科 卒業

2013年8月 USCPA試験合格（アラスカ州）

FAR：83点（2013年5月／2回目）、BEC：76点（2013年2月／3回目）

REG：89点（2013年8月／1回目）、AUD：80点（2012年8月／3回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

20代半ばで会計方面への転職を目指しており、また海外への強い憧れもあったことから英文会計を勉強しておりました。その延長でいつかUSCPAを受験しようと思ったのですが家庭の事情で断念しました。3年前、職場のUSCPA受験生をきっかけに日本受験がはじまることを知りました。TOEICの勉強にもそろそろ飽きてきたころだったので、英語で会計税務を勉強しようと他校で受講をはじめました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記検定2級。経理の仕事をしております。
英語知識：TOEIC®TEST 800点くらい

Q3 TACをお選びいただいた理由は何ですか？

他校の講座でAUDは合格したものの2科目目のBECがなかなか合格できず、TAC梅田校に相談に行きました。その時に事務局の方に他校割・教育訓練給付金制度・国際資格キャンペーンで本科コースを格安で受講できるということを案内していただきました。最悪AUDの合格がexpireすることも覚悟していましたが、5年間継続再受講制度があるTACは安心して勉強を続けることができると思い切って申し込みをしました。またブログなどで知り合ったTAC受講生の方が、短期でしかも高得点で合格されていたこともTACを選んだ大きな理由のひとつです。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

短期合格したことで、TAC講師/TAC教材/Beckerは最強であると改めて実感しました。2012年の11月末から受講を開始したのですが、おかげさまで今年に入ってQ1（1-2月）BEC、Q2（4-5月）FAR、Q3（7-8月）REGと3Quarter連続で科目合格をすることができました。また、GWやお盆休み期間も自習室を開放していただいたおかげで長時間勉強に集中することができました。感謝しております。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通学（WEBフォローつき）。学歴審査待ちや受験州を途中変更したこともあり、学習期間は2年半。そのうち集中して勉強したのはここ1年2ヶ月くらいです。TACで受講をはじめた後は、仕事以外の時間は受験勉強中心の生活に切り替えました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと/科目別）

試験合格のカギは時間配分にあると思います。各テストレットの時間をあらかじめ決め、TBSで時間不足にならないよう決めた時間をきっちり守るようにしました。そのためには日頃から本番に備えた準備をすることがあります。本番より多いMC問題数（最低100問）を毎日解く、TBSが苦手なのでMCと平行してTBSの対策をすすめることを日々のノルマとしました。

社会人受験生は勉強時間が限られます。通勤電車の往復時間や出勤前、お昼休みなど細切れ時間も必ず勉強するように努めました。平日の夜は仕事の疲れで勉強が思うようにはかからないうちでも、できる時間を大切に集中して勉強しました。

【AUD】（AUDのみ他校で合格）

他校の講義・教材で合格をしたのであまり参考になりませんが、受験初回から70点をとったことで少しAUDを甘くみてしまっていたように思います。

受験回数が増えるにつれて問題と解答を覚えてしまいがちなので、3回目の受験の際はテキストをしっかりと読み込みみわかつたつもの論点を完璧にすること、問題を丁寧に解いてケアレスミスなくすることに重点を置きました。FARがらみの問題も出題されるようですので、基本的な仕訳やRatioの見直しなどを試験直前に行いました。

【BEC】

一番苦労した科目です。2011年から3年連続受験をしたわけですが、毎年範囲が広がり、また細かくて難しい問題が出題されるようになってきているような気がします。

学習の流れは講義を視聴し、テキストを読み込んで復習。その後Becker問題集全問を繰り返し解きました。pc演習とfinal examは時間がなく残念ながらもできなかった。AICPAのリリース問題は2007年～2012年分を何度も解きました。

WCについてですが、「WCは捨ててMC重視で…」とおっしゃる方がいらっしゃいますが、私はお勧めしません。年々細かく難しい問題になってきているMCだけで75点を目指すのはあまりに危険すぎます。WCはテクニカルとライティングスキルの二面から点数が付けられるわけですから、論点が多少違っていてもライティングスキルで1点ももらえるかもしれません。本番のWCでは3文すべて書くことをお勧めします。私は英文入力に時間がかかる方なので、毎日仕事の昼休み残り10分で入力の練習をしました。

【FAR】

FARは範囲が広く、悲しいくらいに忘れた科目です。元々記憶力があまりいい方ではありませんし、年齢のこともあり覚えてはすぐ忘れ落ち込み、そして

やり直すという繰り返しでした。

また、FAR本番2週間前に体調を崩し、1週間ほとんど勉強できず満足できる準備ができなかったのですが、本番で「この科目絶対に合格しよう！」と強い気持ちを持って臨むとなぜか受けました。最後の1分まで絶対に諦めないことが大切なのだと思います。

FARの学習はBECと同じ流れになります。範囲がとても広いので、Becker問題集はまず全問→奇数問題のみ→偶数問題のみ→2問飛ばし→5問飛ばしなどと工夫して全体のサイクルを短くするようにしました。

BECと同様にリリース問題も2007年～2013年分を何度も繰り返し解きました。時間がなかったのでBeckerのOptional問題は解いておりません。pc演習もTBSのみ解きました。Final examも残念ながらも時間が足りず解いておりません。

公会計については厳選問題集しか解いておりません。内田先生のポイントを押さえた講義・直対まとめ・厳選問題集を完璧にすることだけに絞りました。そのおかげで本番ではすべて解答でき、得点源となり時間の節約につながりました。

【REG】

REGは本番まで一番時間がなかった科目でしたが、内田先生と杉浦先生を信じてやり抜きましたら高得点で合格することができました！TAC生のREGの得点がとてもよかったので、合格ラインぎりぎりなら3ヶ月あれば間に合うかもしれない！と挑戦して合格に賭けました。

<TAX> 講義視聴後は必ず該当の厳選問題集のMCとTBS対策の問題をすぐに解きました。講義中わからない論点はわかるまで繰り返し視聴しました。ひととおりすべての問題を解いた後はひたすら厳選問題集（直前に問題と解答部分を分解）を解きました。TAXはFAR同様範囲がとても広いので、全体を何周も回転させることに重点を置きました。また、MCと平行してTBSの問題も少しずつ解くことを意識しました。苦手意識からいつも後回しになりがちでしたので、逃がずにTBSに取り組みました。時間が足りずBecker問題集全問は解いておりません。BASIS問題が含まれる一部の章だけ3周解きました。pc演習はリサーチ練習のみに使用しました。optional問題もFinal Examも時間に余裕がなく全く解いておりません。ありがたいことにTAXのAICPAのリリース問題は厳選問題集に2007年?2012年まで含まれております（全問?）ので、厳選問題集を繰り返し解きました。リリース問題はLAWのみを抜き出しTAXと分けて解きました。2013年だけは全体を2回転させました。

<LAW> 私は初心者なので論点に穴をあけずすべてをおさえたかったのですが、LAWだけは時間がなく無理でした。あまりにもボリュームが多くLAWにのめりこんでしまうとTAXがあやふやになってしまいましたので、杉浦先生のAランクを中心に論点の強弱をつけて学習しました。重要な章は音声講義を何度も聴き、LAWのみに抜き出したリリース問題7年分を毎日ひたすら解くようにして、頻出の論点を予想し、該当部分のテキストを繰り返し読むことにしました。TAC問題集とBECKERもひととおり解きましたが、時間が足りなかったのでテキストの読み込みとリリース問題の取り組みが中心となりました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

【グアム受験2回目】週末受験ツアーを使ってAUD・BECを受験したのですが、AUD試験前日宿泊ホテルでパーティーが夜中まであり、うるさくて勉強に集中できませんでした。またホテルに日本食レストランがなくて仕方なく食べた韓国料理で腸が活発になり、試験中トイレに駆け込む羽目になったり、寝坊したりと失敗ばかりの日でした。案の定AUDは74点という悔やまれる結果となりました。

【受験州の変更】メイン州からアラスカ州への変更手続きがスムーズにいきませんでした。CreditをアラスカへTransferする必要があるとのことだったので、私にはTransferするCreditはない（当時科目合格なし）ので不要だと連絡すると、科目合格しなくても必要だから早く手数料を払うようにと連絡がきました。

仕方なく40ドル（くらい）支払うと、なんとご丁寧にFEDEXでCreditをTransferしたという通知の封筒が届きました…。悔しくてその場で破り捨てました。

結局変更手続きに約5ヶ月かかりました。

【日本受験】日本受験になってからは、テストルームがいつもとても寒かったので厚着をしていくようにしましたが、最後のREGの時だけなぜか異常に暑く困りました。

【試験当日のアドバイス】試験会場には早めに行かれることをおすすめします。待合室で最後のつめこみをしようとしても他の受験生がいて集中するのはなかなか難しいです。早めに手続をすませて受験をはじめたのがよいかと思います。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

この試験は諦めなければ必ず合格できます。

自分とTACを信じて、励まし見守ってくれるまわりの人達のためにも頑張ってください。行き詰った時はUSCPAのような高額な試験を受験できる自分は恵まれた環境にあるのだと感謝して勉強を続けていただきたいと思います。一日も早く完全合格されますようお祈りしております。

最後に、

内田先生、草野先生、小泉先生、平石先生、阿辺先生、杉浦先生、田中先生、TAC梅田校事務局の皆さま、TAC生先輩のN.Uさん、A.Kさんはじめ受験仲間の方々の皆さま、受験生活を見守ってくれた家族・友人…

サポートしていただきお世話になり本当にありがとうございました！



重要論点を押さえつつ「まんべんなく」をご自身にあった勉強スタイルで

A.K さん

2013年8月 USCPA試験合格（アラスカ州）

FAR：76点（2013年5月／1回目）、BEC：77点（2013年5月／1回目）

REG：81点（2013年7月／1回目）、AUD：79点（2013年8月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

今後を考えた際、とっておく必要がある資格と思われたため。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：業務経験プラス簿記2級でした

英語知識：TOEIC®TEST 975点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

会社から近く、パンフレットを見て良さそうと思いました。（他社比較はしておりません）

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

草野先生や内田先生のライブ授業は、要所要所でのコメントがより腹に落ち、理解が深まりました。早期合格を計画したため、15ヶ月教室フリーパスを使って土日ともに通学しました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通学を選択しました。1000時間くらいです。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

全般：

BLを除き、重要論点を押さえつつまんべんなく手がけることを心がけました。

BLは杉浦先生のAランク指定のみ、手がけました。

FAR：

1科目目で気負いがあり範囲も広がったことから、「重要論点を押さえながらベッカーをまんべんなく」には苦勞しました。政府会計は内田先生のプロ意識の高さに自分もがんばろうという気持ちになりました。

BEC：

FARで疲れてしまい、ぼんやりしている間に試験が終わってしまいましたが、IT、CG、ECO含め「重要論点を押さえながらベッカーをまんべんなく」は心がけました。

REG：

試験1週間前に自分が「試験を受けるレベルではない」と自覚し、逆算して計画を練り、「直前追い込み」をしました。TAXは内田先生のとめと厳選問題集、総まとめで十分と思います。BLはAランクをテキストで読み込んだ後、ベッカーを解きました。

AUD：

REG試験後、また空白の時間を作ってしまう、試験2週間前に「直前追い込み」をしなければならない状況になりました。仕事との兼ね合いで予定していた追い込み計画もすべてはこなせませんでした。その都度、計画を立て直し、あくまでも「重要論点を押さえながらベッカーをまんべんなく」を心がけました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続きにおいて、わからないところはTACの方に親切に教えていただいたこともスムーズに進めることができた要因かと思えます。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

重複した内容の記憶があるうちに試験日時を設定すると効率的かもしれませんが、長期間のモチベーションの維持が難しい方には「それぞれの試験日を近めに設定し一気に進めること」も選択肢のひとつとして“あり”かもしれません。

わたしはモチベーションの維持に苦勞しましたが、友人をこの試験に巻き込み、一緒に学習できたこともよかったと思います。

私は受験しながら自分の勉強スタイル（直前追い込み型）が分かってきましたが、皆さんにはご自身にあった勉強スタイルがあると思いますので、それが早く見つかって、早期に合格されますようお祈りしております。



経理の実務経験が合格に役立つ

鈴木 岳人 さん

1971年生まれ
勤務先：通信会社

2013年7月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）
FAR：92点（2012年8月／1回目）、BEC：80点（2012年11月／1回目）
REG：93点（2013年7月／1回目）、AUD：89点（2013年2月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

私は入社以来15年に渡って経理・経営管理の仕事をしてきました。2年前に海外事業関連の部署に異動したのを期に、自分のキャリアプランを考えた結果、財務会計・管理会計の知識と経験を生かして、M&Aで買収した海外企業の経営統合を主導したいと考えるようになりました。外国人スタッフの信頼を得るために、能力の客観的な証明としてUSCPAが役立つと考え、受験を決めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：15年の実務経験があり、日本基準の連結決算や開示業務、IFRS導入検討等も行っていました。
英語知識：メールのやり取りはできて、会話は苦勞するレベル。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

十数年前にTACで日商簿記一級講座を受講しており信頼感があったこと、説明会やウェブサイトの説明が分かりやすく、合格へのイメージが持てたこと。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

テキスト・問題集の日本語解説が充実しており、論点をしっかり理解して学習を進められたこと。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信講座を利用。業務が忙しい中でも継続して学習できました。学習開始から合格まで約1年半かかりましたが、総勉強時間は7~800時間程度だったと思います。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

学歴審査の結果、当時のニューハンプシャー州の受験資格を満たしていたため、学習が終わったものから1科目ずつ順番に受験することにしました。※初回科目合格から1年半の期限切れが心配との指摘も頂きましたが、1科目ずつ集中して進める方が自分に合っていると考えました。

各科目とも、DVD講義とテキストを1周、問題集を1周、シミュレーション対策&総まとめ講義を1周、本番3週間前くらいにBeckerのFinal Exam（模試）を2回やって、模試の結果から苦手論点の自作レジュメを作って潰しこみ→本番というのがパターンでした。

【FAR】

最初に学習を始めた科目で、ペースがつかめず苦勞しました。学習内容は公会計以外ほとんど実務で経験済みで、理解は早かったと思いますが、それでも受験まで7ヶ月掛かってしまいました。英語はすぐに慣れて問題ありませんでした。

試験本番ではTBS問題のボリュームがかなり多く、時間が足りず焦りましたが、あきらめずに全ての問題に目を通して少しずつでも部分点を拾ったのがよかったと思います。

手応えに比べて予想外に点数が高かったことで、その後の学習へのモチベーションが上がりました。

【BEC】

FAR受験から3ヶ月後の合格を目指して、計画的に学習を進めることができました。

MCで高得点を取るのが前提で、その上でWCでいかに点数を落とさないかがポイントになるとは思いますが、TACの日本人向けWC対策はかなり役立ちました。「この文章の目的は何で、ポイントは何点あって、一点目は～」といったテンプレートに沿って平易な言葉で文章を構成することで、最低限の得点はできたと思います。

【AUD】

2013年7月以降AUDの試験内容が変わるといわれていたため、順番を入れ替えて先にAUDを受験しました。業務で会計監査を受けてきた経験が役立ち、3ヶ月で合格することができました。

田中講師のアドバイスに従って、Audit Reportを全パターン自分で書き起こして、unqualified, modified, qualified, adverse, disclaimer等の違いを覚えたことも、合格に役立ったと思います。

【REG】

学習範囲が広く覚えることも多かったので、準備に5ヶ月掛けました。実際にアメリカで契約を結んだり、申告書を作成するシーンをイメージして地道に学習を進めました。

直前のFinal Examの正答率は65%程度で、本番の手応えも悪かったのですが、結果は一番高得点でした。感触と結果が一致しない試験だというのは本当だと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

TAC受講生サイトの本試験ガイドに従って手続を進めました。写真やスクリーンショットも豊富で、英語のサイトのonline applicationも問題なく手続できました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

通信講座の方は、自分で学習スケジュールを管理しなければなりません。受験日を早めに決めて、そこから逆算して講義、問題集、直前対策、模試の時期を決めていきます。

TACのカリキュラムに沿って進めることで、合格に必要な力は十分つきますので、後は自分に負けないで、決めたスケジュールを最後まで守ることが重要です。

なお、宅配便で大量の教材が届きますが、箱のまま放置せず、すぐに開封して棚に並べることをお勧めします。来月までに何枚DVDを見なくちゃとか、学習の進捗度合いを確認するのに役立ちますので。



あきらめないこと！（BECのみTACで受講）

M.O.さん

2013年7月 USCPA試験合格（グアム州）

FAR：82点（2012年5月／1回目）、BEC：79点（2013年7月／3回目）

REG：78点（2013年5月／1回目）、AUD：76点（2012年11月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

転職に有利だと思ったからです。これといって突出したものはなく、経理経験も浅かったので、何か武器になるものはないかと考えていたところ、この資格の存在を知りました。USCPAであれば国内外の企業で活躍できるチャンスがあることを知り、また学習を通して英語力や会計知識を深められるという思いからチャレンジしました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

他校で学習しておりましたが、残り1科目がなかなか受からず、勉強方法がわからなくなって途方に暮れておりました。TACは丁寧な講義内容だと定評がありましたので、最後に単科申込みという形で頼らせていただきました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

1科目だけですが、BECの直前対策とBecker教材を申込みました。直前対策のテキストとDVDは、要点がぎっしり詰まっており、短い時間で大変効率よく総仕上げをすることができました。特にWCは英語力不足から完全にあきらめておりましたが、自分でもびっくりするくらい文章がかけられるようになりました。もちろん知っている単語を使い短い文章にまとめる程度のレベルではありますが、感激してしまいました。Beckerですが、これまでに学習してきた過去問題集のなかで一番本試験にマッチしたように思います。時間がなく1回転半くらいしか回せませんでしたが、充実した内容でした。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

他校通信とTACのDVDで、あわせて2年半の学習期間です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

一通りDVDで基礎学習を終えた後は、とにかく毎日欠かさずことなく過去問（MC）を解くようにしました。つつい疲れて明日にしようとか、週末にまとめてなどと思ってしまいがちでしたが、毎日MCを解くことで、英語で問題を解くことに徐々に慣れていきました。ただ、集中力がなく頭に入っていないと感じた時は無理をせず10～15分程度でやめ、調子が良いときに集中して長時間机に向かうことが多かったで

す。当初は「一日〇時間！」の目標を掲げて学習していましたが、この方法に変えてからの方が効果的であったと実感しています。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

出願州の決定にかなり悩みました。時間も費用もあまりかけられないという思いから、追加単位の不要な州で考えていましたが、ライセンスまで取得できた方が将来的によいのでは？という迷いが生じ、結局追加で単位を取得してグアム出願にしました。合格した今となってはよかったかなと思います。

初回受験申込時は、何度も受験科目を間違えて登録され、正しいNTSが届くまでメールでやりとりを続けたので、かなりストレスを感じました。またScore Reportも毎回送られてこなかったため、いつも催促のメールをしていましたが、途中から、こんなものかとあきらめが入り、それほど苦にはなりません。最後の試験だけは、依頼なしでReportが送られてきたのでむしろ驚きました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

英語力も会計知識もとても十分とはいえない私にとっては、決して楽な試験ではありませんでしたが、勉強した分はかならず返ってくる、という手応えを感じられる試験でもありました。学習期間中は何度もくじけそうになりましたが、あきらめなくてよかったと心からそう思います。あきらめずに真剣に取り組めば、きっと合格できます。みなさん頑張ってください！



忙しい社会人ほどこの試験に挑戦する価値があります。

藤沢 達夫 さん

2013年7月 USCPA試験合格（メイン州）

FAR：81点（2013年5月／1回目）、BEC：83点（2013年5月／1回目）

REG：82点（2013年4月／1回目）、AUD：85点（2013年7月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

資格には、能力・努力を第三者から評価してもらえる他、試験対策を通じ必要な知識を効率的に記憶できるメリットがあります。ちょうど勤務先の経理・財務職の駐在員として米国赴任中で、英文会計を体系的に理解する必要があったため挑戦を決めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

海外赴任前のTOEICの点数は650点でした。会計知識については簿記1級と中小企業診断士の知識がありました。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

他資格もTACで取得していたので、必要量の授業・テキスト・復習をこなせば確実に合格実力に届く安心感がありました。また海外受講かつ通信生という不安から、TELやメールで相談に乗ってくれるNorth Americaオフィスの存在が大きかったです。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

資格試験で受験校を使うメリットは無理なくスケジュールを立てられることにあり、TACのカリキュラムに従い週2コマ・週20時間程度の学習を1年間続けると、USCPA合格に必要な知識が一通り揃います。また問題集は、日本語解説のあるTAC問題集、PCを使って解くBecker Online演習ソフトの2つを使い分けできます。本試験対策はBecker問題集を繰り返し解くことが基本でしたが、公会計・コーポレートガバナンス・経済など追加知識が必要な論点では、日本語解説のあるTAC問題集が便利でした。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

海外Web講座を受講しました。追加単位の取得に時間がかかってしまい合計2年4か月かかりましたが、本試験申込を済ませてから合格までは5か月でした。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

合格までの学習法の個人差は少ないと思います。下記①の講義受講期に必要な知識をInputし、②本試験申込を極力早めに済ませ、③の本試験直前期にBecker問題集等を使って得点能力を磨くこととなります。ただし、私の場合、講義受講時に今一つ学習ペースが上がらなかつたうえ、単位が足りないために本試験を申し込まないまま②の時期をダラダラ過ごしてしまいましたが、本試験日さえ決まればキビキビ計画的に学習できました。「個人的には、本試験日を早く決めること」をおすすめします。

【①講義受講期】

特に変わった工夫はせず、週2コマWeb講義を聴き、平日2時間、土日各5時間で週20時間ペースの学習をしました。教室講義であれば講師への質問を通じ、理解を深めたり学習意欲を高めることができますが、私の場合は学習ペースを自力で上げることが難しく、このままでは未受験、もしくは不合格に終わると思っていました。

【②2年目（本試験申込みまで）】

1年間の講義受講が終わっても単位取得が遅れており本試験日も決まらないので、FAR～AUDの順で問題集を解き直しました。時間があるため苦手論点をじっくり考える利点はありましたが、明確な達成課題もなくただ学習し続けている状態ですから、振り返ってみると無駄な時間を過ごしたことになります。

【③本試験直前期】

本試験日決定後は、合格までの学習量を見極め、残り時間を意識して効率的に学習することができました。さらにこの時期は達成課題が明確なうえ、一度解いた問題の解き直しを中心なので1日何時間学習しても疲れません。よって得点も爆発的に伸びました。

【FAR】

公会計は知識が素直に問われるため、テキストを読み込むより問題集を繰り返し解くことで、頻出論点から順に効率良く覚えることができました。FARの出題論点は固定化していて、計算力・タイムマネジメントが合格へのカギだと想像できたため、本試験直前にPass Masterのランダム100問を数回繰り返し、問題難易度別・論点別の解答所要時間を決めました。MC各テストレットを40～45分目標とし、簡単な問題は1問1分以内で解き、社債・リースなどの問題条件解読に時間がかかる計算問題は後回しにすることで、余裕を持って解き終えました。

【BEC】

他資格の知識が使えるため、Corporate Governanceの暗記以外は、Beckerを繰り返し解いて試験形式に慣れる作業が中心でした。現在価値や資本コストの論点はFARと重複するため、類似点・相違点を意識して効率的に記憶できます。Written Communication対策については時間の都合上本試験3日前まで手つかずでしたが、総まとめ講義の指示通りの準備で不安なく解答できました。

【REG】

Taxは一見すると暗記中心であり、他科目のように理屈で考えるとむしろ混乱するため、苦手感が強かったです。結論から言えば、内田講師の指導通り、Beckerを解いたら直前対策まとめに戻って日本語解説を確認、次いでForm記入を中心としたTBS問題を解くという順で学習し、自然に理解できるようになりました。Business Lawは、深い理解にはこだわらず問題演習を優先することで、頻出論点を確実に得点する力がつきました。

【AUD】

1回目71点でFailになった最大の原因はBeckerを繰り返し解くことで解答を覚えてしまい、それが実力だと過信してしまったことにあります。2回目の挑戦では講師にアドバイスを仰ぎ、①MCはまず2択に絞り、次いで2択で間違えた理由をしつこく復習 ②復習時の追加知識をサマリーノートに書き込み ③標準報告書等の文面は暗記、等を心がけました。なおTACテキストとBeckerテキストでは論点の収録順が違うため戸惑いますが、その場合は②のサマリーノートを使うと手早く整理できます。また③の標準報告書等の暗記は、字面を目で追うよりタイプ打ち（写経）をする方が、本試験での正誤判断に有効でした。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

Web講義受講中に本試験申込みを済ませておけば良かったのですが、仕事にかまけて申込を先送りしているうちに、メイン州の学歴要件が上がってしまい、追加の単位取得などで1年近い時間とお金を費やしてしまいました。

試験申込みの手続き自体は、受講生サイトの資料が充実しておりスムーズに進みました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

この試験の性格上、正しい方向の努力をすれば間違いなく合格できると思います。従いまして、合格するか・しないかの問題ではなく、合格までに何年・いくらコストがかかるかだと考える方が適切だと思います。理想的な所要期間は講義1年+直前期6か月程度と思いますが、これも工夫次第で短縮可能です。



合格以上のものを手に入れました

及川 美里 さん

中央大学 商学部 卒業
勤務先：外資系不動産投資会社

2013年5月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）
FAR：87点（2012年5月／1回目）、BEC：79点（2013年2月／3回目）
REG：82点（2012年11月／2回目）、AUD：90点（2013年5月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

USCPAに合格した友人が「勉強すれば必ず役に立つ」と勧めてくれたのがきっかけです。また、試験範囲が会計だけでなく税務や法律等範囲が広いのも魅力でした。範囲が広いからと敬遠する人もいますが、広範囲にわたる様々な知識を身につけられるのではと思いチャレンジを始めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記2級
英語知識：TOEIC®TEST 770点
経理関係の仕事をしており、帳簿作成やレポーティングは英語で行っています。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

教室受講を考えていたので通学しやすいことが第一でした。他のスクールとの比較は特にありませんでしたが、TACは通信講座でもフリーパス制度で通学ができ、またベッカーとも提携しているとのことで、TACを選択することに迷いは全くありませんでした。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

講師の方々は皆熱意があり、講義はもちろん講義後の質問等にも丁寧に答えをいただきたるに助かりました。なかなか結果が出ず悩んでいた時期にアドバイスを頂くなど非常に身近な存在に感じられる講師の方々がいらっしゃって本当に恵まれていたと思います。

授業では草野先生の熱のこもった授業でFARの難しい論点も興味深く学ぶことができました。また、AUDの帆足先生のご自身の監査経験から教えていただく授業はとて興味深く、苦手だったAUDが一番好きな科目に変わりました。教材で特に素晴らしいのは、TAXの内田先生の直前対策まとめと厳選問題集、MA&FINの阿辺先生のレジュメ、AUD帆足先生のレジュメです。受験に必要な項目がコンパクトにまとまっており、これがなければ合格できなかったのではと思います。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信を申し込みましたが、フリーパス制度を使って教室講義で学習しました。1年間の講義中はほぼ毎週教室講義に出席し、やむを得ず通えない時は次の授業までに音声フォローで聴講し次の講義に間に合わせました。ちょうどAUDの授業が始まるころから、最初の試験（FAR）の試験勉強を始め、合格までは講義開始から2年2か月かかりました。どんなに忙しくてもとえ30分でも必ず毎日勉強を続けるようにしました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

受験において感じたのは、基本的な項目を全範囲まんべんなくおさえること、その上で応用を付けることが大切ということです。学習したうえで感じたことを下記まとめさせていただきます。

- 【受験スケジュール】
- ・全科目合格の期限を設定し、そこから逆算してどの科目をいつ受験するか決めること。単位要件をクリアしているのであれば受験手続はできるだけ早く行うことをお勧めします。
- ・試験日を決めたら週単位で計画を立てて学習を進め、勉強できない日があってもその週のうちにリカバーできるようにし、試験当日までに必ず全範囲を網羅できるようにすること。
- 【学習全般】
- ・ベッカーを何回するかは重要ではなく、理解して問題を解けているかが大事。何度も解いていると答えを覚えてしまうことがありますが、当日の試験問題を解くためには自分の頭で考えて回答を導き出すことが大切です。
- ・試験上重要な項目は全てTACの教科書に含まれていると思います。TACテキスト→問題集→ベッカーの順に行き、ベッカーでわからないところはTACの教科書に戻って学習するという繰り返しました。
- ・直前対策まとめはTACテキスト、問題集、ベッカーを一周してからDVDをみて、再度ベッカー、その後直前対策まとめにまた戻るといった流れで学習しました。直前対策まとめを含め講義音声は全てダウンロードし、試験直前は直前対策まとめの音声を通勤中に聞いていました。
- ・ベッカーのシミュレーション問題（TBS）は試験早めに取り掛かれるようにし、マルチプルチョイス（MC）の理解度を深めることや弱点の把握に役立ちました。TBSはできるだけ早めに手を付けるのが良いと思います。知識の整理に役立ちますし、TBSを解いた後MCも解きやすくなりました。
- ・AICPAのリリース問題は最低5年分を試験前に解くようにしました。
- ・ベッカーのテキストは各章の最後についている問題を解くのみでテキスト部分は読みませんでした。
- ・暗記物は覚えたかと思ってもその後も目を通し続けること。試験当日まで記憶を維持することが大切です。
- 【FAR】
- ・試験まで4か月をかけ、最初に受験しました。TACの問題集、ベッカーも各項目最低3回は回して受験に備えました。私自身暗記よりも計算問題のほうがなじみやすかったため、また会計に直結している科目であることから比較的スムーズに勉強することができました。FARは講義の他FAR3の範囲をこなすのに時間を要するの

で余裕をもった準備を進める必要があると思います。FAR3の公会計は、内田先生の授業、テキスト、問題集で非常に興味を持って学習することができました。

【REG】

TAXは内田先生の直前対策まとめの内容を覚え、厳選問題集を解いて進めました。ベッカーの問題集は一度流しましたが、厳選問題集だけで十分だと思います。直前対策を毎日持ち歩き、通勤時間中に内容を見ていました。そこであやふやなものにはTACテキストに戻って内容を確認、再度直前対策まとめと厳選問題集にもどって学習しました。二度目の受験で合格しましたが、一度目のスコアもTAXは良かったので勉強方法に問題はないと判断し、二度目の受験ではBLに力を入れました。

BLは一度目の受験ではほとんど手が付けられず、TAXの点が良かったにもかかわらず不合格でした。そのため、繰り返しになりますが全範囲をまんべんなく学習することが大事だと思います。二度目の受験では、要点カードや、TACテキストの重要箇所を縮小コピーして小さめのノートに貼って重要項目のまとめノートを作成しました。杉浦先生が講義中に重要とおっしゃっていた論点を中心に学習して合格することができました。

【BEC】

一番苦しい科目です。初回受験はFARと同時に受けたため、MA&FINしかカバーできていない状況で受験し不合格、その3か月後にREGと合わせて準備し受験し二度目の不合格となりました。初回は完全な準備不足で納得がいきませんが、二度目の受験はTAC問題集、ベッカーも複数回した後の不合格だったので根本的に勉強方法を考えなければと思いました。そのため、あえて時間をあけ、REG二度目の受験をして合格した後あらためてBECに取りかかるとにしました。その上で、ベッカーを回すことに注力しすぎたため、根本的に理解が浅かったことに気づき、全範囲TACテキストと問題集に戻ってやり直しました。ECOの理論は非常に苦手でして、市販のビジネス誌等にも目を通すようにし日本語でも理解ができるようになりました。

Written Communicationは、教科書の重要項目やキーワード、MCで間違えやすい内容を使って自分で問題を作成し、自分のわかりうる英語で書いて練習しました。試験期間に英文法能力まで高めるのは時間的に非常に難しいと思います。キーワードとなる英単語は覚えましたが、複雑な文章を書くことは一切行わず、当日自分で書けるであろう文法や単語に絞って練習しました。その文章を英語の得意な友人に採点してもらい、文法におかしい部分を直してもらって当日に臨みました。この方法はとても効果的で、知識が整理され理解度も格段に上がりMCの正答率も上がりました。

【AUD】

講義期間中はFARの試験勉強を始めていたため復習にあまり時間をさかず、また苦手意識が非常に強かったので少々短い期間です。試験の準備を始めたのは講義が終わってちょうど1年経ってからで講義内容をほとんど覚えていない状態で試験準備を始めましたが、結果的には最も短期間（3か月弱）、高得点で合格することができました。

まず講義DVDを早回しで見て一周し、TACの問題集を解きました。一か月ほどかかりました。それが終わる頃再受講制度を利用して教室講義に参加しはじめました。同時にベッカーのMCに取り掛かり、一か月で一周して最後に直前まとめ対策のDVDを見ましたが、この時点ではまだ知識が定着しておらず、直前対策まとめを見てあまり効果はありませんでした。

試験前一月はMC2週目に取り掛かり、後述の要点暗記を強化し、また各レポートの比較をするため各種Audit Reportをまとめたノートを作成し、Auditorの責任範囲などの比較を徹底的に行いました。また、重要な項目は自分の言葉で説明できるかを声を出して確認し、あやふやな部分はTACテキストで確認して知識を定着させました。Auditの体系や基本的な考え方を理解するにつれ、MCやTBSの理解度もありました。

帆足先生の講義でいただいたレジュメは切り取ってノートに貼り、空欄には自分で補足を書き込んで内容を徹底的に覚えしました。この暗記が定着したころから、MCの正答率が上がり始めました。他の科目でもそうですが、ある程度学習を進めた時、頭の中が整理されインプットした知識がつながり始めます。AUDは暗記項目がほとんどを占めますのでその瞬間がはっきりとわかりました。また、「自分がAuditorだったらどう対処するか、どこまで責任をとれるのか」という観点で考えるように」という帆足先生のアドバイスはその後の学習にとても役立ちました。MCやTBSの問題はAuditのある一面を切り取ったにすぎませんが、Audit全体の中でのAuditorの立場や考えるべきことを考慮して問題を解くことで、正答を導きやすくなるのではと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

商学部出身なので追加の単位取得はさほどありませんでしたが、とにかく早く受験したかったので単位要件をクリアしやすいニューハンプシャー州を選択しました。単位試験は講義期間中に終了させ早い段階から受験スケジュールを決めたのが良かったと思います。単位取得、成績証明書の発行等はTACのサポートで全く問題なく進めることができました。

プロメトリックセンターは、混雑待ちで時間が長くなるので、既定の開始30分前よりも早めに行くことをお勧めします。待合室には色々な試験の受験生の方がいるので、集中して最後のつめこみを行うのは難しい環境でした。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

USCPA試験は範囲が広い分様々な知識を身につけることができますので、これから様々な場面で役に立つと感じています。あきらめなければ絶対に合格できる試験です。受験中は思ったように学習が進まないこともありますが、停滞期も必ず出てきますがそこであきらめて脱落するのは非常にもったいないことです。

TACの講義、教材が勉強すれば必ず合格しますので、あきらめることなく頑張ってください！



Petit a petit, l'oiseau fait son nid. (小鳥は少しずつ巣を作る)

竹迫 昂 さん

1983年5月生まれ
東京外国語大学 フランス語学科 2008年卒業
勤務先：外資系ホテル

2013年5月 USCPA試験合格 (ニュージャージー州)
FAR：88点 (2012年4月/1回目)、BEC：81点 (2012年4月/1回目)
REG：85点 (2013年5月/1回目)、AUD：79点 (2012年11月/1回目)

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

税理士試験の税法の勉強をしていた際、優れた検索エンジンが普及した現代で、一言一句(句読点の位置まで!) 条文を覚えなければいけない試験に疑問を持ったこと、外国語を勉強したかったこと、出向先の外資系企業で多くのUSCPAに出会って刺激を受けたことが重なった。

USCPAの学習内容を調べると税法よりも興味を持てた。(外資系企業では世間一般で言われているよりもUSCPAの価値は高く認められていると感じた。)

税理士受験の時から何か身を立てる資格を取得しようと思っていたため、税理士からUSCPAに切り替え、チャレンジすることを決めた。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：税理士試験 / 財務諸表論取得
英語知識：TOEIC®TEST 825点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

税理士試験の受験時にTACで受講しており、授業・教材の質が高かったから。

講師が熱意を持って教壇に立たれるので常にモチベーションを掻き立ててもらえる。

この点は税理士試験講座でもUSCPA講座でも共通していた。

Q4 TACの講座でよかったところ(講師、教材、カリキュラムなど)

授業や教材が基準や条文の改正に適時に対応し続けて頂けるので何の不安もなくカリキュラムに沿って学習を進めることができるのは大きなメリットだと感じた。

誤植や差替えが多い印象を受けるが、授業・教材の適時性を考慮に入れるとマイナーパスできる範囲だと思う。また音声教材が利用できるのが大きなメリットである。読む、書く、聞くとより多くの器官から情報を取り込むことにより知識の定着度合が高まる、気がする。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通学
2年2ヶ月

Q6 合格までの学習法(全般的なこと/科目別)

[授業]

BEC、REG、AUDはほぼ全て講義に出席した。

仕事が忙しい時期や試験直前はDVD講義で対応したが、生の講義に出席すると周りの受験生や先生の熱意に刺激を受けることができるので極力講義に出席するよう心掛けた。

[全般]

全ての科目で共通して、講義の後はTAC問題集を3回転(△と×がついたもののみ)、紙ベースのPass masterを1問飛ばして3回転(同上記)を機械的にこなした。

エクセルで一覧表を作成し、問題の○△×を記載してどの分野が弱いのか等を把握していた。苦手な分野が一目瞭然なのでそのあたりは再度テキストに戻って理解を深めた。

勉強時間は朝出勤前の1時間、昼休み30分、終業後2時間、土日各6時間のペースで勉強した。また通勤時間はiPodにダウンロードした講義を1.5~2倍速で聞いていた。※もちろんこれは標準勉強時間で計画通りに行かない日のほうが多かった。

長時間集中力が続かないこと、仕事が忙しかったこと、エビングハウスの忘却曲線によると回数を増やすことが記憶の定着に繋がる

ということなのでこのような学習スタイルに辿り着いた。暗記作業はあまり行わなかった。但し△と×は解き直すルールを定めていたため、間違え続けると解かなければいけない問題数が減らないので間違えた問題だけは暗記した。この方法であれば、覚えようというインセンティブが働くので効果的だと思う。

iPodの講義を聞くだけで問題がスラスラと解けるようになることはなかったが、ボキャブラリーを体に馴染ませたり覚えた知識を体系化したりするなど情報を咀嚼するのに役立った。(特にBusiness LawやBusinessでは知らない単語、馴染みの薄い単語が多く出てきたので役立った)

またスピード上げて聞くことにより、単元ごとにぶつ切りであった講義を横つながりて把握できるので、科目の全体像が明確になった。

[FAR]

財表を既に取っていたので難しいところはなかった。

dollar value lifoやPLの構造などJGAAPとUSGAAPで異なる箇所を重点的に勉強した。

[BEC]

原価計算と初めて出会ったのでコンセプトがとても新鮮で面白かった。テキストが薄い割に範囲が広く、理解を要する分野が多く苦勞した。

[REG]

ずっと苦手意識を持っていたが直前2週間前に意外なほどにスラスラと問題が解けるようになった。

最初は時間が掛かるが、後半で伸びる科目であるという印象。暗記しないといけない項目は問題を解き続けるうちに自然と覚えるのでゴリゴリと暗記作業を行う必要はないと思う。

[AUD]

最も好きな科目だったが最も点数が低かった。

満点近く取れたと思って帰ってきたが、点数はあまりよくなかった。手応えと結果が乖離している理由が不明のためコメントは差し控える。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

ニュージャージー州は出願直後に受験要件が変わったり、Prometric centerの予約手続きが煩雑だったりして試験を受ける気力が削がれた。実際に受験要件に振り回されて勉強を止めてしまった知人も数人いた。手続きはおおむねスムーズに進んだが、1度だけ書類が届いていないと言われてしまい再送したことがあった。

学習量は必要量よりも多かったのかもしれないが、日本受験ではなくグアム受験であったため、必ず受かる程度の学習量をこなしてから受験に行くことが一番のリスクヘッジだと考えていた。試験自体の難易度や得意・不得意分野の出題数により実力と実際の得点に差が出てしまうので75点ちょうどを目指すのは危険だと思う。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

会計と語学とは似ているところが沢山あります。ただの記号から、記号以上の膨大な情報を読み取ることができる、自分の水準が変わってくると見える風景が一変する、アナロジーを働かせることで幾何級数的に知識が増えていく、等々。USCPAを受験される方は少なくとも数字か英語のどちらかが好きな方だと思います。折角少なくない時間を費やすので、数字は苦手・英語は苦手と食わず嫌いをせずに試験勉強を楽しめるといいと思います。

もちろん資格試験なので受からなければ楽しいとも言えないのですが、英語と数字に両方強い人は希少価値が高く、ライバルも少なくなりやすい。

また、合格後は仕事の幅も広がります。私の場合は内部監査や会計システム導入に関連する仕事を新しく任せられるようになりました。

たとえ初めから完璧な知識を持っていなかったとしても、USCPAに関連する知識は学んでいます。それを糸口に調べて対応できることが増えるので合格後は今まで以上に自分の可能性を広げることができます。

みなさんぜひ合格を目指してがんばってください。



夢、感謝、仲間を持って頑張りましょう！

呉 華慧 さん

1983年5月生まれ
横浜市立大学 卒業
勤務先：メーカー財務部
2003年中国の江西から来日しました。

2013年5月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）
FAR：80点（2012年11月／3回目）、BEC：76点（2013年5月／3回目）
REG：76点（2012年 5月／1回目）、AUD：78点（2012年8月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

大学の時からUSCPAという資格を知っていました。大学で会計学を専攻し、会社で経理・財務関係の仕事に勤め、英語も大好きでした。世界を舞台に活躍できる資格を取りたいという思いと、2011年から日本でも受験可能ということでUSCPAの勉強を始めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級
英語知識：TOEIC®TEST 730点
会社では連結及び日々の資金管理を担当していました。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

学校まで乗り換えせず電車一本で行けること、通学であること、BECKERとの連携や5年間継続再受講制度など、全部決め手でした。2011年1月9日に説明会に行きました。たくさんの質問に対し、小泉先生が一つずつとても丁寧に説明してくださいました。当時割引もあったので、金銭的にも助かり、早速決断していました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

TACに通って本当によかったです。この二年間に得られたのは資格だけではなく、英語力、日本語力の上達、同じ苦労を経験してきた仲間、そして諦めない精神力を身につけました。TACの講師の皆様はとても親切で、授業が終わった後も質問があれば納得できるまで答えてくださいました。教材は日本語と英語両方記載しており、勉強しやすかったです。そして、カリキュラムは土日の1年コースで、社会人でも通いやすかったです。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

2011年1月に入学し、1年間の通学講座を受けました。2012年2月から受験開始し、2013年5月に全科目合格することができました。合わせて2年5ヵ月かかりました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

合格までの2年間、旅行、買い物等を我慢して、何よりも勉強を優先してきました。平均平日2～3時間、週末8時間勉強していました。全部の科目に共通していますが、全てのTAC問題及びPASSMASTERの問題を解いていました。科目別について合格順で書いていきます。最初合格したのはREGであり、この科目は唯一、一回目で合格した科目でした。内田先生の授業は分かりやすく、「直前対策まとめ」の資料も素晴らしいです。REGに関して完全にTACの教材のみで対応できました。AUDは100%出席し、受講中になるべく理解しようとしてきました。頑張った結果、残念ながら1回目の受験では59点でFAILしました。2回目の受験対策として、BECKERの教科書を全部読みました。

AUDに関しては、日本語で理解したとしても、問題文の微妙なニュアンスで間違いやすいです。英文を読むことによって理解が深まり、問題を解く時も迷わず解くことができました。

FARはちょっと苦労しました、2回連続FAILしました。MCはある程度できたと思いますが、敗因はSIMだったと思います。いつもSIMの時間が足りず、毎回長文の問題が解ききれませんでした。3回目の時はSIMに100分を残し、SIMに十分な時間を与えました。

BECは最後の科目だったので、早く全部合格し、勉強から解放されたい一心で頑張りました。しかし、最近BECが難関となることが多く聞かれます。WCとCG並びにITが苦手でした。対策として、私は3回目の受験前に約20個の例文回答を丸暗記しました。運よく本番のテストに山をかけた二つが出ましたので、スムーズに書けました。そして、CGとITはTACの教材にのみならず、BECKER教材の英文も2回ほど読みました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

私はずっと横浜駅西口のプロメトリック試験会場で受験していました。何回も行こうちに、受付の方と仲良くなり、いつも風の当たらない良い席を選んでくれました。ただ少しでも早く合格をしたいと思っていましたので、全科目合格をして試験会場に来るのは早く卒業したいという気持ちでした。

すべての科目は途中1回休憩を取っていました。そして、受験後、早速試験に出た問題、特にSIMやWCの問題はメモを取っていました。経験上、次の受験も同じ問題が出たりしますので、すでに受験した問題をなるべくクリアしたほうがいいと思います。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

私は「思ったより合格までに時間が掛かってしまった」と思っています。こういうふうにしたのは、USCPAの高い合格率が原因かもしれません。なぜ頑張ったのに自分がうまく行かないのかショックを受けました。いま思えば、あまり合格率に左右されないほうがいいと思います。

- アドバイスとしては、
1. 感謝の気持ちを持つこと
勉強に専念するには、家族の支え、友人の励ましが不可欠です。私は応援してくれた家族や友人に感謝しています。
 2. 夢と目標を持つこと
この資格は長引く努力が必要です。毎日頑張っているうちに、何の為に頑張っているのか、目標を失うことがあります。しっかり夢と目標を持つことが、モチベーション維持に繋がると思います。
 3. 仲間が大事
通学講座のお陰で、勉強仲間がたくさんできました。お互い進捗状況を報告したり、励ましたりしていました。同じ苦労を経験している仲間なので、大切な存在です。最後に、頑張ったのに受からない、どうすればいいのかわからない方に、PCのPASSMASTERの問題の正解率90%までやり続けてください。各科目の問題数は平均1,200問なので、何回もやれば絶対行けると思います。90%を達成できれば合格まで近いと思います。受験中の方やこれから目指そうとお考えの方、しばらく我慢が必要かもしれませんが、自分が選んだ道だから、絶対に諦めずに最後まで頑張ってください。

仕事と両立できる学習方法の見極めと習慣づけが大事



M.H さん

1978年生まれ
勤務先：メーカー

2013年5月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）
FAR：93点（2013年1月／1回目）、BEC：82点（2013年2月／1回目）
REG：88点（2013年4月／1回目）、AUD：86点（2013年5月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

2010年から1年間、アメリカへ留学しMBAを受講しましたが、聴講生という立場で学位が取れるコースではなかったため、形に残るものを取りたいと思ったことがきっかけになります。

また、日本受験が可能であったことも大きなきっかけになったと思います。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級

英語知識：TOEIC®TEST 910点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

講座説明会や体験講義DVDがわかりやすかったことと、受験資格に必要な大学単位不足分をブラッドリー大学で補えたということです。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

受験教材として信頼できるBeckerが使えること、またBeckerを理解・解答するために必要なポイントが講義・テキストにうまく集約されていたことがよかった点だと思います。

仮に受験ということを別にしても、会計知識をわかりやすく学ぶことができました。

演習問題も豊富で出題パターンを理解するのに十分な量でした。

また、質問Eメールに対して回答も素早く、非常に丁寧に解説して下さった点も大変助かりました。

学習の進め方や受験申し込み手続きについて相談した際も対応は非常に丁寧で、試験や授業に関するアフターケアも大変満足行くものでした。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信で学習し、合格までの学習期間は1年で、2012年6月受講を開始し2013年5月までに全科目受験しました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

講義については、DVDを毎週2コマずつ1回だけ視聴するようにしました。

通信ですと、自分の都合で遅らせることや、繰り返し視聴することができますが、途中でモチベーションが途切れるのを防ぐため、また緊張感を維持するため、通学と同じく毎週

定期的に受講し、聴けるのは1度だけと思って視聴することが大事だと考えました。

その分問題演習を重視し、多くの時間を割きました。

TACもしくはBeckerの問題演習→間違える→次、間違えないようにするにはどうするか考える→再び問題演習というサイクルを、通勤中の電車の中や、昼休み、寝る前等隙間の時間を利用して一回でも多く繰り返していました。

Beckerの問題集は科目毎講義パックが終わったタイミングで取りかかりはじめ、次の科目の講義と並行して演習していました。1、2回回転し終わったら、BeckerのProgress Testを1日30～50問、毎日繰り返しました。

なお、科目毎に勉強法を特別変えることはせず、どの科目も問題演習に特化して勉強を進めていました。学生のときのように時間が十分取れるのであれば、もう少し授業の理解に時間を割けるかもしれませんが、限られた時間しかない社会人としては、問題をやって間違えてから復習した方が効率がよいと考えました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

まずニューハンプシャー州の学歴審査です。2月受験を予定していたため、余裕を持って8月にWESに申し込んだのですが、指定審査期間からはずれてしまい、急遽FACSに依頼をし直しました。結局テスト予定日の10日前にNTS到着が届き、なんとか受験に間に合いましたが非常に慌てました。

2つ目はAUDについてです。AUDのテスト範囲が7月から変われることを講義の中で知り、当初7月以降の受験を予定していましたが、急遽5月に前倒しました。

追い込まれたことが逆に良かったのかもしれませんが、スケジュールがタイトとなり、あまり良いものではありませんでした。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

受験を通じて得たものの中で、私が一番よかったと考えるものは、会計分野の基礎知識はもちろんですが、社会人として仕事と自己啓発を両立させる習慣です。自分にとって無理なく自己啓発を続けられる学習量・時間の使い方が身につけられました。

また、どういう態度・過程で合格を目指すのか、自分なら講義内容をどう説明するのか、仕事にどう応用するのか等意識し、単に合格点を取ることを以上のプレッシャーを自分にかけてながら勉強を進めると、テストが通過点に感じられるようになり、良い結果に結びつけられるのではと思います。



辛い時も、あきらめなければきっと合格できます！

N.I さん

2013年5月 USCPA試験合格（ニューハンブシャー州）

FAR：77点（2012年2月／1回目）、BEC：78点（2012年8月／2回目）

REG：75点（2012年8月／1回目）、AUD：91点（2013年5月／3回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

英語プラス会計の知識を活かせる資格を探していたところ、知人のUSCPA合格者に勧められて興味を持ち、自分も挑戦してみたいと思うようになりました。ちょうど日本受験が可能になった事も後押ししました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級
留学経験有。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

簿記2級を勉強した際にTACの教材を使用し、その時にとてもわかりやすいイメージがありました。また、最寄りのTAC校で説明会に参加し、講師の方が親身になってアドバイスをして下さったので、最終的にTACに決めました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

テキストが日本語でわかりやすく解説されているので、理解を深めるためにとても良かったです。また、5年間再受講制度があるので、リーズナブルに最新の教材を購入できる点も魅力の一つです。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信DVD講座。学習期間は、1年8ヶ月です。勉強時間は、平日は3時間、土日は7～8時間程度、一か月平均100時間超勉強していました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

学習の順序は、TACで推奨されている通り、FAR→BEC→REG→AUDの順でした。

各科目とも、学習の流れは、DVD視聴→テキスト通読&TAC問題集→Becker2～3周&間違った箇所のテキスト熟読→試験2週間前にFinal Examといった感じです。直前対策まとめが良くまとまっていて知識の整理に重宝しました。REG以外の科目ではまとめノートとしてどんどん書き込んで使いました。

【FAR】勉強期間 5ヶ月

FARはとにかく分量が多く、細かい計算方法などの暗記が大変でした。しかし、内容としては簿記で勉強した内容を活かせる部分も多く取り組みやすい科目でもありました。公会計は、始めとつきにくい分野でしたが、内田先生のおかげで得点源になりましたので、捨てずに内田先生のまとめノートを中心に取り組んだほうが良いです。

【BEC】勉強期間 6ヶ月

4科目の中で一番分量が少ないためにこの科目を甘く見ていました。管理会計などで簿記の知識を活かすことはできますが、他にもIT、ECO、CGがあるので、これらもバランス良く学習する必要があります。また、Written Communicationはネイティブと比べるとハンドとなってくるので、そのハンドを補うくらいのMCの精度を求められます。1回目受験は不合格となり、スコアレポートを見るとやはりWCはWeaker、MCにおいてもStrongerを取れている分野はほとんどありませんでした。そこで、2回目の受験時にはWCにも力を入れ、またMCの精度を上げるべく、Beckerを繰り返し解き、教科書の熟読で理解を深め、なんとか合格しました。

【REG】勉強期間 3ヶ月

REGはとにかく税法です。内田先生の講義、テキスト、まとめノートは本当に素晴らしいので、先生を信じて取り組みれば大丈夫です。それから、内田先生の話し方はとても良い意味で耳に残ります。私は、講義を音楽プレイヤーにダウンロードして通勤中の電車の中で毎日聞いていました。おかげで本試験中には、頭の隅に残っていた先生のフレーズがきっかけで何問か救われました。

Business Lawは配点の割に分量が多く、どの程度まで取り組むべきか迷いました。私は、REG受験期は、BECの2回目受験と並行して勉強していたので時間的に余裕がなく、杉浦先生の“Aランク”中心に基本的なポイントだけ押さえるようにしました。

REGは追い込みが効く科目だと思います。ボリュームの多さから、時間的に間に合わないかと思う時も、とにかくあきらめないで受験したほうが良いです。私の場合も、75点というギリギリの点数で合格できました。

【AUD】勉強期間 9ヶ月

私の勉強期間のほぼ半分を要したこの科目。REGの合格までは当初予定した通りのスケジュールだったので、このまま学習開始から約1年で終われるかもと期待していたのですが、ここからが長かったです。田中先生のわかりやすい授業のおかげで、AUDに苦手意識はなかったのですが、1回目受験では74点とあと1点足りず悔しい思いをしました。スコアレポートを見るとMCはすべてStronger、SIMがWeakerだったので、2回目はSIMに重点を置いて勉強しました。しかし結果はまたも不合格。しかも前回より点数が下がった上に、SIMはまたWeaker。だんだんと最初に合格したFARのCreditを失効するかもしれないという不安で、ますますプレッシャーが大きくなりました。このまま同じ勉強方法をしていても同じ結果になるだけだと思い、再受講制度を利用してBeckerの最新版を購入し、講義DVDも始めから見直すことにしました。また、MCはSupplement問題まで、SIMは過去7年分を2～3回繰り返しました。その結果、本試験中は、苦手のSIMでもこれまでより自信をもって解答でき、試験後の手応えも良かったです。そうは言っても、2度失敗している中で、「もう一生AUDに合格できないのでは」と悲観的になり、結果発表まで不安で仕方ありませんでした。そのため合格したとわかった瞬間、嬉しい気持ちよりも安堵の気持ちの方が大きかったです。

AUDは監査を一連の流れとして一つ一つのプロセスを理解しているかがとても重要だとわかりました。MCは出題のパターンが掴めてくると、ある程度正答率も上がるので、自分が理解していると錯覚してしまいます。しかし、SIMで応用力が問われると全体をきちんと理解していないと対応できないのです。過去2回の受験では、その点の勉強が欠けていたのだと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

私は、FACSでの学歴審査にとっても時間がかかり、2月に予定していたFARの受験ができないかもしれないととても焦りました。メールで問い合わせたところ、ちょうど依頼した時期が混雑していたようでした。審査に時間がかかることもあるので、早め早めに動いたほうが良いです。また、受験の時期によって暑さだったり、風邪の流行期だったり、体調管理に気を配るのも大変でした。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

私は決して要領の良いタイプではありませんので、当初計画していた以上に時間がかかりました。何度も不合格を経験しながらも、あきらめず前に進み続けることで最終合格まで辿り着くことができました。努力してもそれが結果につながらない時は本当に苦しいです。しかし今は、辛い受験勉強があったからこそ合格の喜びがとて大きなものになったのだと思っています。

これから目指す方も頑張ってください！



自分を信じて諦めないこと！

M.F さん

勤務先：米国の会計事務所

2013年5月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）

FAR：83点（2012年7月／1回目）、BEC：75点（2013年5月／3回目）

REG：80点（2013年4月／3回目）、AUD：85点（2012年7月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

私は日本の公認会計士の資格を有しております。日本の監査法人において、上場企業、株式公開会社、その他様々なクライアントの監査を経験しました。その後IFRSのアドバイザーグループに異動しましたが、国際的な会計士を目指そうと考え、アメリカの会計事務所に転職しました。英語は最初は得意ではありませんでしたが、会計の知識はあったため、USCPAを勉強し始めました。また、以前BATICを勉強したこともあり、FARについては好きな科目でした。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日本の公認会計士の資格を持っていたため、会計の知識は問題ありませんでした。

英語知識：TOEIC®TEST 895点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

日本の公認会計士試験の講座も利用したことがあり、TACの講座内容は分かりやすく、かつ教科書も詳細で多かったです。私は上級コースを申し込んだのですが、他の予備校と比較してコースが充実していたことも魅力の1つでした。また、通信講座でもいつでも質問ができるのもTACに決めた理由の1つです。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

通信講座でしたが、講師の方々は皆とても説明がわかりやすく、講義は面白く、興味を持って最後まで取り組むことができました。教材はとても分かりやすく、多いですが、講義の中で重要な箇所を指摘してくださるので、大変助かりました。補助資料も充実しており、講師が講義の中で重要と言ったところ以外は手をつけませんでした。それでも十分合格できる知識を身に付けることは可能です。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信でした。無職の期間で集中的に勉強できたため、合格までの学習期間は約9ヶ月間でした。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

FAR：会計の知識はあったため、余り時間をとりませんでした。特に新しい政府会計については時間をかけて勉強しました。問題集を2回解きましたが、難しい問題は誰も解けないと思い、パスしました。

AUD：勉強前の監査の知識はある程度あったため、この科目についても余り時間をとりませんでした。問題集は2回程回して試験に臨みました。

REG：法律系は苦手でした。また、パートナーシップや、LLPなど会社形態がいくつかあり、かなり苦手でした。その結果、2回も不合格になってしまいました。重要な点や間違えやすい箇所はノートにまとめ、シミュレーションはBeckerの問題を何回も解き、ようやく3度目の挑戦で合格できました。

BEC：この科目は一番苦労しました。教材は少なめですが、範囲が膨大で、試験で何が出るか全く予想ができないためです。73点で2回とも落ちましたが、見慣れない問題が数多くありました。また、writingも苦手で、どうすれば点が取れるか真剣に悩みました。ようやく3度目で合格できましたが、運、不運がされやすい科目だと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

日本の大学を卒業しており、ニューハンプシャー州が単位を満たしていたため、ニューハンプシャー州に申し込みました。今後単位の要件が変わってしまうので、早めの対応でよかったと思います。FACSに単位取得の確認をしましたが、2ヶ月近く時間がかかってしまいました。

受験はアメリカでした。夏場は会場はクーラーがきいて半袖でいるととても寒く感じました。夏に受験する場合は、長袖のシャツを着たほうがいいと思います。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

資格試験全般に言えることですが、常に合格するという意思をもって勉強することが大切だと思います。途中で分からないことがあったり、試験で落ちてもう駄目だと思うことがあるかもしれませんが、諦めないで自分を信じて取り組めば、必ず夢は実現すると思います。まず、1科目ずつ着実に勉強していくことが大切だと思います。また、分からないことがあれば、何でも講師に相談することも重要だと思います。75点以上とれば合格できる試験ですので、ぜひ皆さんチャレンジして欲しいと思います。Never give up!



自分の成長を感じる資格

Chun Steven Yang さん

1979年生まれ

一橋大学 国際企業戦略研究所 (MBA)

勤務先：金融系 Finance company

2013年5月 USCPA試験合格 (メイン州)

FAR：89点 (2012年5月/1回目)、BEC：85点 (2012年11月/1回目)

REG：82点 (2013年5月/2回目)、AUD：88点 (2012年8月/1回目)

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

私は金融系 Finance companyに勤めています。以前は海外向けの投資部門で働いていましたが、2010年に人事異動で財務部に配属になりました。財務部は資金調達先の金融機関に面している部署で、会社全体の財務状況を正しく把握しておかなければなりません。それまでの自分の強みは複数言語を話せるという語学力でしたが、今の部署に配属になってからは会計の知識不足を感じましたので、それを補うためにUSCPAにチャレンジすることを決めました。また、会社の会計基準がUS基準であったことや、年に数回受験できることも自分のライフスタイルに合っていました。私は出身が台湾で、育ちがオーストラリアです。日本にはMBA取得の為に来ました。MBA卒業後からは今の企業に勤めています。また、USCPAにチャレンジする事にしたもう1つの理由に日本語力を上げたいということもありました。MBAは全て英語の授業でしたので、就職後はその知識を日本語に変換しなければならず、言葉の壁を感じたことも多くありました。USCPAは確かに英語の資格なのですが、TACでは学習の過程で日本語のテキストを使い、授業も日本語で学べますので、日本語もレベルアップできると思いました。USCPAに合格するという事に加え、学んだ会計用語を日本語と英語の両方で理解でき、日本語と英語両方で発信できるということは本当に大切だと思います。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

英語力は問題ありませんでした。
会計知識はMBAで基本知識を習いました。
(財務諸表、バランスシート、キャッシュフローが読めるレベル。)

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

TACだけが上場企業ということと、他の資格の評判も良かったのでUSCPA講座も良いだろうと思いました。(簿記や日本の会計士の講座も評判が良かった。)
また、割引を使えたのでコスト面でも大きかったです。
TACはインターネットで調べたところ、他の学校よりも教材が多いという事が事前に分かりました。もう少し教材が少ない学校もありましたが、結局情報が足りなくて、TACに入り直すという方もいるようでしたので、自分は天才タイプではないと思いましたので、教材が充実していて、試験範囲を網羅している方が良いと思いました。

Q4 TACの講座でよかったところ (講師、教材、カリキュラムなど)

講師は説明が分かり易かったです。
FAR草野先生のレッスンは全く眠くならず楽しんで学習ができました。
あとは、REG杉浦先生のレッスンも印象に残っています。
TACの教材は重要な論点を網羅していて、日本語の解説も非常に勉強になりました。
税法のテキストは補足の情報も細かく書いてありましたので助かりました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

2011年1月に入学し、TAC新宿校に通学していました。
初回受験が2012年5月で、最終合格が2013年5月です。

Q6 合格までの学習法 (全般的なこと/科目別)

まず初めに授業を受けて、その後TACの問題集をやりました。

その後同時並行的にですが、直前対策もやりつつ、Beckerの問題集を繰り返し解きました。

問題を解いていく中で、間違ってしまったところのポイントや覚えるべきことは、直前対策のテキストにどんどん書き込んでまとめるようにしていました。(REGのみスペースが足りなくなって他のテキストも使用しました。)

また、エクセルでBeckerの成績を入力して正答率がどのように推移しているかもモニタリングしました。

初めてREGを受験した時の話ですが、当時は仕事も多忙だったということと育児も大変でしたので、なかなかこのエクセルで入力している結果が安定せず、できる時とできない時の差が激しかったです。

REGの初回受験は残念な結果に終わりましたが、その他は全部この方法で合格できました。

全部1回で受かりたかったのですが残念でした。

勉強の時間ですが、平日の残業がない日は、子供を寝かしつけた後に15問くらいの量を1回~2回くらい解いていました。答え合わせを含めると30分~1時間くらいだったと思います。

その他、AICPAのリリース問題もやりましたので、問題はあるものはほとんど解きました。

土日の勉強時間は、家族との時間もありますので時間を細切れに使い、朝1時間半、午後1時間、夜1時間半など、4時間くらいやっていました。

個人的な試験の難易度の感想は、FARとREGが難しく、BECとAUDはそこまで苦ではありませんでした。

これは、BECとAUDは暗記部分が大きくあまりトリッキーな問題はなかったからかもしれません。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続や実際の受験はスムーズにできました。
私は初回受験の時はまだメイン州が日本受験の加盟州ではありませんでしたので、FARをグアムで受験をしました。これは会社も休まなければなりませんし、試験以外にも余計なストレスが発生しますので大変でした。

2回目の受験時期からはメイン州出願でも日本受験ができるようになりましたので、茅場町で受験しました。近くに住んでいますので、自転車で行きました。

飛行機と比べるとかなりの差で、ストレスが減り本当に楽でした。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

他の合格者もおっしゃっていますが、この試験はがんばれば合格できる資格だと思います。TACで用意しているテキストや講義は試験範囲を網羅していますので、追加の教材は一切いらなと思います。不安になることはあると思いますが近道はありませんので、コツコツ自分を信じて頑張ってくださいと思います。

真面目に真剣にTACの教材、Beckerの教材をやれば合格できると思います。

USCPAで学習した内容は実際の仕事でも活かしています。

例えば、海外の子会社の財務オペレーションをサポートしたりもしているのですが、銀行から借入れをする時は、契約書をチェックしたりとドキュメンテーションの作業があります。その時にbankruptcy (破産) の項目がありますが、USCPAを勉強していれば、なぜ銀行がその項目にこの条項を入れようとしているのかが分かるようになります。

また、現在の部署では会計専門用語がよく使われている部署なので、最初は“ヘッジ会計”や“VIE”などの会計用語を聞いたら、慌ててWikipediaで検索し、勉強していた時期もありましたが、USCPAを学習した後はきっちりわかるようになりました。

こういった知識は実務の中では大雑把なイメージを掴んだとしても、正しい内容は学べませんので、USCPAの学習を通して正しい理解ができて非常に役に立っています。

皆さんもぜひ合格を目指してがんばってください。



思い立ったら、今でしょ! ?

佐藤 大志 さん

2013年5月 USCPA試験合格 (ワシントン州)

FAR : 75点 (2012年5月/1回目)、BEC : 80点 (2012年11月/2回目)

REG : 79点 (2013年2月/2回目)、AUD : 82点 (2013年5月/3回目)

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは?

ほとんど趣味で簿記2級取得したのですが、そのまま簿記1級を目指すかどうか考えた時に、どうせ時間と労力をかけるのであれば、海外資格であるU.S.CPAの方が格好良さそうだったので挑戦しました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は?

会計知識 : 簿記2級

英語知識 : TOEIC®TEST 935点

Q3 TACをお選びいただいた理由は?

他校も含め3校の授業をDVDで体験視聴したのですが、草野先生の授業に爆笑してしまい、それで即決しました。

Q4 TACの講座でよかったところ (講師、教材、カリキュラムなど)

結果的に、講義、TAC教材、Becker教材だけで合格できました。講師の方々が「それで大丈夫」と言うのを信じて。講義中の話ですが、自分にとっては論点以外のアドバイスも重宝させていただきました。例えばモチベーションアップ。生徒が脱落しないよう配慮して、興味を引くちょっとした小話を織り交ぜる講師もいらっしゃいました。大変お世話になりました。

試験で問題を解いている最中に、「この論点では、田中先生があんな余談をしていたな」などと思い出すこともありました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか? 合格までの学習期間は?

DVD通学です。働きながらなので、ほぼ土日だけの学習で、合格するまで2年半ほどかかりました。

Q6 合格までの学習法 (全般的なこと/科目別)

FAR ; 講義とTAC問題集だけで合格してしまいました。簿記の知識が役に立ったと思います。

BEC ; TAC問題集だけで臨んだところ、70点で不合格となってしまったので、2回目はBecker問題集×3回転しました。Becker問題集をやると、内容確認でBeckerテキスト (英文) も読むことになると思いますので、これが英語の底力を引き上げたと思います。そうこうすることで、Written Communication科目で使うべき単語や言い回しを自然に覚えられたと思います。

REG ; REGも講義とTAC問題集だけで合格しました。大学が法学部 (国際私法ゼミ) だったので、Business Lawだけは唯一取っつきやすい科目でした。逆に、Taxationは、正直最初は全く内容が腑に落ちず「まいったなあ」と思っていたのですが、あきらめずにしつこく問題演習を繰り返しているうちに、いつの間にか条件反射的に回答できるようになっていました。

AUD ; AUDは最後まで受かる確信を持てなかったのですが、結果からすると、しつこくBeckerテキストを繰り返し繰り返しやることで合格できました。試験も3回目ともなると、全く意味不明の論点は数少ないので、そこは最後は力技で暗記するようにしました。この科目は文章による説明が多いので、TACテキストを読んでもスッキリしなかった部分は、Beckerテキストの該当部分を読むことで理解を深めました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

グアムテストセンターで受験しました。初めての時は、会場でテストの受付してもらっただけでもドキドキしてしまいました。こういう体験は、日本国内の試験では味わえないので楽しかったです。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

最初に講義を聞いた時にわからないと落ち込んでしまいましたが、あきらめずに繰り返し問題演習していると段々わかってきますので、「心折れずに頑張ってください」。



TAC & Becker で早期合格できます！

T.M さん

2013年5月 USCPA試験合格（アラスカ州）

FAR：88点（2012年8月／1回目）、BEC：78点（2013年5月／2回目）

REG：79点（2013年2月／1回目）、AUD：82点（2012年11月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

専門性を高める下地として、ビジネスで必要な会計知識を幅広く身に付けることができる資格だと思ったため。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記1級

英語知識：大学受験時と同程度

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

日商簿記1級の受験時にTACの教材を使っており会計関連資格に強い印象を持っていたこと、米国で有名なBeckerと提携しており最新の試験傾向が反映された問題を解けること、他社の受講生の多くがTACの直前対策コースも併用していると聞いたことがきっかけでTACを選びました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

FARの草野先生はテキストに書いてあることだけでなく、本質から理解でき、受験後も役に立つ力を身に付けることができました。TAXの内田先生の直前対策は私の周りの受講生が皆絶賛するすばらしい内容です。他の講師の方もすばらしく、TACの教材・カリキュラムだけで、十分合格レベルに達することができます。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信(Web)で学習しました。2013年5月の全科目合格まで1年弱、総学習時間は800～900時間です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

2倍速で講義を聞いて復習しながら問題を解くというのを2回転させた後、Beckerで本試験レベルの問題を2～3回解き、受験に臨みました。受験範囲がとても広いので、短時間で濃密な復習ができるかが重要だと思い、問題を解きながら気が付いた点はExcelに書いて、後で編集してオリジナルのまとめノートを作成し、通勤時や受験直前期に使用しました。

Beckerの問題を解くときに気をつけたことは、なんとなく解いて答えを暗記するのではなく、何が論点なのかはっきり意識し、全選択肢をなぜこれが正解で、なぜこれが不正解なのか考える癖を付けました。これはTACの講師の方も同じことを言っていますが、他にも講義中に勉強方法や受験

テクニックを教えてくれるので、必ずメモを取っておき、それを意識しながら勉強するようにしました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

まず1科目に集中し合格を目指しましょう。私はまずFARの受験時期を決め、それに間に合うように日単位でスケジュールを立て、進捗管理していました。3の倍数月以外は日本受験が可能になり、受験しやすくなりましたが、その分、合格レベルに達しないと受験せず後ろ倒しにしてしまい、モチベーションの低下や就業環境の変化により、長期化してしまった人を見てきています。1科目合格するとExpireがあるため、危機感を持って勉強でき、早期合格につながっているようです。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

最初にFARを学習する方が多いと思いますが、範囲がとても広く、講義を1回ずつじっくり聞いていると、いずれモチベーションが下がってしまいます。最初から100%理解しようとせず、まずはガンガンと最後まで進めて「あ、こんなもんか！なんとかなりそう！」を感じてから、最初に戻り復習していくというやり方が早期合格につながると思います。1科目合格して要領を得れば、他の科目も同じ勉強方法で大丈夫です。

学習停滞時は冷静に自己分析して学習方法の軌道修正も大事。とにかくあきらめないで。



K.Y さん

米国州立大学 卒業
勤務先：外資系企業

2013年2月 USCPA試験合格（イリノイ州）

FAR：77点（2012年4月／2回目）、BEC：78点（2012年8月／3回目）

REG：84点（2011年11月／4回目）、AUD：77点（2013年2月／4回目）

FARは2010年に1回目合格しましたがExpireし、BECは2010年に2回目で合格しましたがExpireして2012年に再度合格しました。

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

US CPAになろうと思い、米国州立大学のAccounting専攻で留学卒業し、その後米国企業で働きながら勉強を続けるもハードワークで何度か挫折。3年前に再度チャレンジしようと思いついたのがきっかけです。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

米国州立大会計専攻卒業のため、英語力と会計知識はありました。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

3年前某予備校に最初申し込みましたが、教材の内容ボリュームについて合格への不安があり、比較対象でTACの教材の内容ボリュームとBeckerとの提携などで優れていたため思い切ってTACに切り替えました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

教科書の内容が充実しているところ、Beckerと提携しているところ、通信学習でしたが忙しい社会人にとってDVDやWeb通信を倍速で視聴できたこと、5年間継続再受講制度などです。

Taxの内田先生の授業は最初インパクトの強さに引いてしまい、ついて行くのが大変でしたが、慣れるにつれてすごく熱心で丁寧な授業であり、集中して内田先生のおっしゃっていることを聞き逃さず勉強すれば合格できます。まとめノートは本当に助かりました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

2009年秋冬コースの通信から勉強を始めました。学習期間は2年7か月です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

DVD講義は集中して観て、その後すぐに記憶に定着させるために問題集を解きました。平日は朝1-2時間と土日終日時間を取って勉強しました。各4科目について下記学習法でした。

1. FAR

とにかく計算問題を何度も解いて問題に慣れておくことをおすすめします。簿記2級と実務でカバーしていたので、苦手意識はありませんでした。

2. BEC

MA&FINもFAR同様何度も問題を解いて慣れることをおすすめします。他のEconomics/IT/CGは講義を丁寧に学習し教科書を読んでもまず理解を深めることにしました。その後理解と記憶を定着させる為すぐに問題集を解きました。

BECは本番の試験で過去問で見たことない問題が出題され、理解不十分だと応用がきかないことになってしまうので、とにかく理解を深めることが大事だと思います。

3. REG

TAXは、最初内田先生の講義になかなかなじまず、3回落ちてしまいました。3回の受験で感じたのは講義を丁寧に集中して視聴し、メモをとりあやふやな箇所を残さないという基本的なことがちゃんとできていないと合格できないということです。3回目までは理解があやふやなまま受験し本番で迷い落としてしまっていたと思います。4回目からは、内田先生のDVD講義を倍速せずじっくり丁寧に集中して視聴し、まとめノートを読み込み、覚え、問題集を解き、すべてDVD講義を視聴したらBecker問題を解く。その後Simulation問題を解き理解の確認をするという流れでした。DVDは2回繰り返して視聴しました。

Lawも同じく、DVD講義を同じく丁寧に集中して視聴し、教科書の読み込みをして理解を深め、記憶定着の為にすぐに問題を解くという流れでした。

REGは何度も不合格になり、苦労した科目です。講義の内容をひとつも聞き漏らさない、あやふやな理解のものは残さない、問題を解くときは1問も間違えないという心構えで挑み4回目で84点でやっと合格できました。あきらめず丁寧に学習すればするほど結果のでる科目であると思います。

4. AUD

AUDは、1回73点、2回74点で不合格となりほんとうに嫌になりましたが、最後まであきらめずREG同様、丁寧に理解を深め集中して勉強すれば必ず合格できます。

基本的に田中先生の講義をメモをとりながら視聴して、すぐに問題を解きました。全講義視聴後、BeckerのMC問題を解き、すぐにSimulationを各項目ごと解きました。

あと1点で合格だったという気持ちが邪魔をして、一步踏み込んだ勉強をしなかった為、3回不合格となってしまいました。あと1点という壁を乗り越えるには、自分は理解が足りないのですべてリセットしてすべて学習し直すという強い意志と集中力が必要だと思っています。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

米国州立大学卒業だったので、特に問題なく受験手続はできました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

合格科目がExpireしても、とにかくあきらめず努力続ければ必ず合格できます。

US CPAの勉強がライフワークになってしまいそうで、辛かった時もありましたが、とにかく勉強を止めてあきらめないことです。やめてしまったらもっともっと合格は遠くなります。自分を信じてそして謙虚に冷静に自分の理解度を判断して、学習方法を修正していくことが大事だと思います。

経理経験者は諦めず勉強を続けましょう



M.A さん

勤務先：海外展開している上場企業の
グループ会社（製造業）
小規模な子会社1社の決算や予算、資金繰管理、
内部統制対応など財務全般の業務を担当

2013年2月 USCPA試験合格（NH州）

FAR：90点（2013年2月／1回目）、BEC：81点（2012年11月／1回目）

REG：91点（2012年5月／2回目）、AUD：76点（2012年8月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

現在の会社で、英語を使って財務関係の仕事をする機会がある。加えて、小規模な子会社1社のバックオフィス業務の主担当として財務全般の仕事に任されることになった。経理財務の本をちょこちょこ読んで必要な知識を得ながら仕事をするにも限界を感じ、財務経理に関する網羅的で体系的な知識を身につけたいと思った。USCPAの広く浅く実践的な知識を問われる特徴が自分のニーズに合致した。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級合格（簿記1級を半年程度勉強して中断）、仕事で3年程度の財務経験、学習開始時は経理経験は無し（USCPA勉強と並行して経理・決算業務を経験）。

英語知識：TOEIC®TEST 550点
（10年前、その後特に勉強していない）

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

友人がTACで勉強して日本の会計士試験に合格した際、TACは良かったと言っていたこと。社会人なので忙しくて勉強を中断するかもしれないので、5年間継続制度の存在。高額の受講料を前払いするので、上場していることによる信頼感。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

HPの合格体験記が充実していて参考になった。通信講座で一人で勉強していたので、体験記の内容が勉強方法の参考になった。自宅での勉強に飽きたときは自習室を使ったが、無料ですし、空いていて良かった。具体例や様々な比喻で講師の方が話してくれるので、楽しみながら勉強できた。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信。決算や予算など忙しい時期は全く勉強ができなくなるので自分のペースで勉強するため。

途中で転勤や結婚の準備などで勉強を中断した時期を除き、通算で2年3ヶ月。1300時間。

勉強時間は、仕事で残業があり（残業月平均50時間）、早く帰れる日はつき合いの飲み会や家事の分担もあり、平日は通勤時間の1日30分+a、休日に1日6時間目標で勉強した（月平均50時間強）。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

【各科目に共通】

DVDを一通り見て、TACの厳選問題集を1回解き、間違えた所だけ再度解き、それでも間違える所は、A4の紙にメモして、歩いている時間などスキマ時間にチラ見して暗記した。

※忙しくて勉強の間隔が空いて、どんどん忘れてしまうため。

勉強の途中に、ブラッドリー大学の単位認定試験を意識的に設定したり、エクセルに勉強したところや、総問題数とその日正解した問題数などを記録し、進捗管理やメリハリをつけるようにした（途中で小さな目標を設定してモチベーションを保った）。

FAR以外の科目はベッカーを累積正解率9割になるまで1回解いた。

受験直前にTACの直前対策を解き、FAR以外は予想問題を1回解いた。

【REG】勉強期間（2011年8月～2012年5月）約450時間

仕事で税務申告の資料の準備をしたり、以前に少し宅建の勉強をかじっていたことから、多少、日本の税務、法務知識があった。

転勤、結婚準備による勉強中断から再開したが、勉強のペースや勉強方法がつかめず、試行錯誤を経て、7ヶ月間勉強して臨んだ

2012年2月の初めての受験は71点でFail。試験自体は落ちたが、問題のレベル感が掴めてほしいこれぐらい出来れば受かるのかなというイメージができた。3月から5月までは、メモに弱点をまとめて暗記し、ベッカーの100問ランダムによる問題演習を週末に繰り返して、これで絶対に受かるという確信を持って受験し、91点で合格。

【AUD】勉強期間（2012年5月～8月）約300時間

仕事で子会社の主担当として会計監査を受けているため、会計士が監査で行う手続きの部分的なイメージを持っていた。2012年5月にREG合格判明後、最新の教材を購入し、上記の【各科目に共通】の方法で勉強して、8月に受験し、76点で合格。

※メモ書きに、各種監査報告書の特徴を書いたり、監査手法や流れをまとめて、スキマ時間に読み返した。また、5種類ぐらいの基本的な監査レポートの文言を丸暗記したが、それによってなんとなくAUDのイメージができた。

【BEC】勉強期間（2012年8月～11月）約170時間

大学時代に1年程度ファイナンスの勉強済。簿記2級合格や1級の一通りの勉強で原価計算・工業簿記の知識があった。仕事でも子会社の予算作成を担当しており、IT以外は多少基礎知識があった。2012年8月にAUDの合格が判明してから、上記の【各科目に共通】の方法で勉強した。WCは決まった文言とフォームを暗記し、田中先生の講義も参考にした。3つのBODYに具体例を1つずつ織り込むようにした。WCで難しいことを書く事は諦め、MC問題に時間を注力した。11月に受験し、81点で合格。

【FAR】勉強期間（2009年3月～11月150時間、2012年12月～2013年2月230時間）約380時間

簿記2級合格後、簿記1級を半年勉強、2012年時点で簡単な経理業務も3年経験程度していた（簿記の勉強時間は上記の380時間に含まず）。

2009年に勉強開始してDVDを一通り見た後、TACの厳選問題集を1回解いた。その後、仕事が忙しくなり、勉強は中断。2012年12月にBEC合格が判明してから、最新の教材を購入しDVDを再度視聴、TACの厳選問題集を1回解いた。ベッカーを解く時間は無く、TACの厳選問題集で間違えたところをA4のメモにまとめて、スキマ時間に何度も見直した。まとまった勉強時間は内田先生が得点源と言っていたNPAの問題を解いたり、苦手分野に優先順位をつけて潰していた。結果は90点で合格。

【受験勉強中の意識の持ち方】

日本受験開始前に勉強を始めたため、受験手続きや受験時期にイメージがわかず、だらだらと勉強した。途中から日本受験が始まり、受験しやすくなったことで、本腰を入れて真面目に勉強するようになった。早めに受験時期を決めて、早く勉強スタイルや受験のイメージを持つことが大事と実感。細かい目標（上記のエクセルの勉強したところの進捗管理や単位取得など）を設定し続けることでモチベーションを保った。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

英語単語がわからないところを調べずに手続きしたところ、学歴認証で苗字と名前を逆に登録したため、NASBAに送られた情報が一致していなかったようで、なかなか自分の情報が更新されなかった。のんびりしていたら、2ヶ月近く経ってしまった。業を煮やして問い合わせして、何度もやりとりしてようやく情報の修正ができ、手続きが完了した。英語で電話をする自信が無いので、インターネットで見つけたクレームの定型文をコピーして使いながらメールでやり取りした。早め早めのレスポンスが必要だと反省した。

受験当日のトラブルはほぼ無かった。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

TACの教材を使ってコツコツと勉強すれば、2～3年程度の経理経験のある方ならば、十分に合格できる試験だと実感しています。経理にも英語力が求められる時代ですので、経理関係の方は一度始めたら絶対に諦めずに、途中で一時中断しても勉強を続けて欲しいと思います。頑張ってください。



仲間を作って学習、諦めなければ合格できます！

中田 友彦 さん

1989年生まれ

勤務先：会計系ソフトウェア会社

2013年2月 USCPA試験合格（メイン州）

FAR：81点（2011年10月／1回目）、BEC：80点（2013年2月／4回目）

REG：77点（2012年8月／2回目）、AUD：77点（2012年8月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

大学に入ったときから何か資格を持っていれば就職活動をする上でも有利だと思っていましたので、漠然とですが大学院を卒業するまでの間に何らかの資格を取得したいと考えていました。

大学3年までは何もしていなかったのですが、4年生になった時に先輩がU.S.CPAの勉強をしていて、非常に興味を持ったというのがきっかけです。財務会計にはもともと興味が、さらに試験が英語ですので、財務会計と英語力をアピールできる資格だと思って実際にチャレンジすることに決めました。

就職活動に関して言えば、実際のところ1科目合格だったため、それだけで就職が決まるようなことはありませんでしたが、個人的なアピールとしては使えたと思います。

海外とやり取りのない企業ですとそこまで重要視されないかもしれませんが、大手企業や外資系の企業であればU.S.CPAという資格は知られていますし、某商社での面接ではかなり多くの方がU.S.CPAを勉強していると聞きました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

2010年11月から学習を始めました。

TOEIC®TEST 650点、簿記は未学習でした。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

U.S.CPA試験にチャレンジするきっかけと繋がりますが、先輩がTACで勉強をしていた影響が大きく、私もTACを選択しました。

合格して振り返ると、やはりTACは教材が秀逸したので選択は間違っていなかったと思います。私の周りでも少しずつU.S.CPAを学習する友人が増えました。

日本の会計士試験と比べれば、難易度や試験制度を考えても社会人でも受けやすい資格です。これから学習を考えている方にはTACをおすすめしたいと思います。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

テキストが学習しやすかったのと、TAXのまとめ教材は非常に役に立ちました。

BECのSimulation対策ですが、試験制度が変わり、BECのWritten Communicationがちょうど始まる時だったので当手を振り返ると多少少問題数が多ければ良かったかなと思いました。

FARの小泉講師、MAの阿辺講師、BLの杉浦講師と自分は相性が良く、講義が分かり易かったです。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通学DVDで水道橋校に通ってました。通学で受講しないとやらなくなってしまう性分なので、大学の休みの期間を利用して一気に講義を視聴しました。

合格までの学習期間は、2010年11月から学習を開始して、間に就職活動もありましたので、実質2年くらいだと思います。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

2011年5月くらいまでにDVDでInput講義を全て見ました。

その後、Becker教材をこなし2011年10月にグアムで4科目受験しました。この頃はメイン州がまだ日本受験に対応してなく、お金もなかったため、何回も渡米できないと思い、一度に4科目受験をしました。結果はFARのみ合格でした。BECとREGは70点台であと数点で合格だったので、非常に悔しい思いをしました。

その後、メイン州の受験要件が引き上げられてしまったのですが、科目合格があれば今までの受験要件で受験が可能で、日本受験も可能になったということで、これはラッキーだと思いたまたやる気が出ました。

2回目の受験は、2012年8月に3教科受け、REGとAUDに合格しました。

この時は正直、全教科手応え的に落ちたと思いました。ですが結果をみてみると2教科合格していましたので、改めて手応えと結果が違く、最後まで合格が分からない試験だなと感じました。

BECは2012年11月にも受験したのですが、この時は残念ながら73点でBECに不合格。

マルチプルチョイスはかなりでき、ほとんどがStrongでしたが、Written Communicationができませんでしたので、これが敗因だと思います。その後、あと1科目だと気合を入れ直し、いろいろな方の勉強法を参考にしました。

2013年2月の受験では、今度はマルチプルチョイスができず、またダメかもしれないと思っていましたが、結果的には合格できて良かったです。

学習方法としては、まずテンプレーションを覚えて、AICPAのマルチプルチョイスの解答の文章で使える単語や言い回しも覚えるようにしました。何か説明する時はこういう風によく書くという感覚を身につけられるようにしました。

さらに単元ごとに出やすいようなところは一通り書けるように準備はしておきました。

学習場所ですが普段はカフェで先輩と一緒に勉強をしていました。

InputのDVDが見終わってからは、広い範囲を学習するのではなくて、例えばFARであれば今日はリースだけとか社債だけとか単元ごとに焦らず1つずつ理解をしていきました。理解が終わった後は、パソコンでBeckerを解き、分からないものに関してはテキストに戻り理解を深めていきました。

Beckerは過去問を分析していますので、本当に同じような問題が出ますのでしっかりやっておいた方が良いと思います。

その他細かいところですが、SimulationはFARだときちんと仕訳が切れるように練習をしました。マルチプルチョイスだけをやっていると、何となく問題は解けますがSimulationになると迷ってしまったりするのでしっかりやっておいた方が良いです。またREGですとBasisの計算ができるようにしました。

これは最初の受験の際にグアムで出題されて73点で不合格だったので、これができていれば恐らく初回受験の時に合格していたと思います。

AUDは最初、全体像を掴むのが大変でした。最後まで行くとだんだん分かってくる。

AUDはSimulationが難しかったです。見たこともないような記号が出てきたりしたのですが合格できました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続ははっきり言うと、めんどくさいです。

私の場合は、メイン州に出願をしていましたので、日本受験ができるのだからいけないのかということや、受験要件が厳しくなってしまう等の変更をキャッチアップするのが大変でした。

私の場合は幸い科目合格がありましたので、旧受験要件で受験もでき日本受験も可になりましたが社会人の方であればメンタル的にもさらに大変だったと思います。

初回受験のグアムでのエピソードになりますが、試験会場は街外れのところにあります。私は試験日にホテルからわざわざタクシーで行きたくなかったので、節約も兼ねてテストセンターから歩いて10分くらいのホテルを予約しました。

夜10時くらいに空港に到着するフライトでしたので、メールでホテルの方が迎えに来てくれるという約束をしていたのですが、到着後1時間くらい待っても迎えが来ないというハプニングがありました。

迎えが来ないので電話をすると「忘れてた」と言われ、結果的にタクシーで行くことになってしまいました。

ですが、ホテルのオーナーは悪い人ではなく、徒歩10分にも関わらず試験会場まで迎えに来てくれたり、スーパーマーケットに連れて行ってくれたりしました。部屋も1人なのですがベッドが2つあり部屋もかなり広く結果には良い経験、良い思い出になりました。

英語力ですが、グアム受験の時にはまだまだでしたが、合格して先週までヨーロッパを旅していたのですが、この時には不自由なくらいに英語力がアップして役に立ちました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

可能であれば、仲間を作って学習するのが良いと思います。周りは遊んでいる人も多いので、やはり一人だと諦めてしまうことも多いと思います。先輩は私より少し前に合格をし既に海外で働いているのですが、一緒に頑張れたことが大きかったです。

U.S.CPAの勉強を始めたことを振り返ると、会計や英語力も身に付きそれを資格として取得できましたし、様々な経験もできましたので、U.S.CPAを選択したのは正解だったなと思います。

これから学習する方も今学習している方も、勉強に専念するというのはなかなか厳しいと思いますが、頑張れば、一般的な日本の難関試験のように合格率で切り捨てということではないので、ご自身のキャリアアップを考えても頑張りたいと思います。



諦めずに学習を続ければ、必ず成就します。

晝間 洋介 さん

1984年生まれ
京都大学 卒業
勤務先：国内の事業会社

2013年1月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）
FAR：76点（2012年8月／1回目）、BEC：80点（2013年1月／2回目）
REG：79点（2012年11月／1回目）、AUD：78点（2012年11月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

大学4年から簿記の学習を始め、在学中に2級を取得したが、簿記が性に合っていたため社会人になってからも学習を続け、1級を取得。米国公認会計士の存在は以前から知っていたので、ステップアップの意味合いと将来の仕事の幅を広げるため取得を決めた。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記一級、実務経験はなし。
英語知識：TOEIC®TEST 865点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

ベッカーとのコラボに魅力を感じたため。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

- ・ベッカーのコースディスクは、学習後の問題演習に非常に役に立った。あれだけの問題数を試験前にこなせば、「これだけやったのだから万全」という自信も生まれると思う。
- ・テキストの解説は丁寧で内容も網羅的。試験はTACのテキストの内容を理解し、ベッカーで演習を積めば十分だと思う。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信。2011年8月から学習を始め、2013年1月に全科目合格。学習期間は1年半。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

基本的には「講義DVDを1.5倍速で視聴→問題演習→間違った部分のテキスト読み込み→問題演習…」の繰り返し（FARやBECの一部など、これまで学んだことが活かせる部分は講義DVDは視聴せず演習のみ）。

学習を始めた当初はインプット重視の学習をしていましたが、問題演習を通じてアウトプットを多くしながら、それに合わせてインプットをする方が、効率的でした。

また、合格に向けてsimulation問題の対策も当然必要ですが、simulation問題を解くことで関連分野の知識を広く確認できるので、いい復習にもなります。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

TACのサイトを参照したり、電話で出願州の相談をさせていただいたので、大きな混乱もなく履歴審査と受験申込ができた。これを個人で行うのはかなり大変だと思うので、この部分だけをとって、予備校に通う意味はあると思います。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

米国公認会計士試験の合格率が高いことから「米国公認会計士＝易しい」と考えるのは早計です。たしかに、問題はストレートであり、奇門難問の類はあまりありませんが、合格レベルに達するには相当量の勉強が必要になります。それなりの時間を勉強に当てる覚悟は必要だと思います。

最近、どの州でも受験資格の引き上げが目立つように感じます。将来取得を考えている人は、極力早くアクションを起こしたほうがいいと思います。



継続すれば結果は伴ってくるもの

S.Y さん

1982年生まれ
神戸大学 卒業
勤務先：銀行

2013年2月 USCPA試験合格（ニューハンブシャー州）
FAR：75点（2011年9月／3回目）、BEC：76点（2012年12月／3回目）
REG：83点（2013年2月／4回目）、AUD：82点（2012年12月／3回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

若手の時、香港支店の勤務を通じ、将来はずっと海外で仕事をしていきたいという願望を持つようになりました。銀行業につき日頃顧客の財務資料を拝見することが多く、海外の会計基準を理解することは重要であると考えました。米国公認会計士の取得により海外の会計基準の理解に役立てると思い勉強を開始しました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記1級
英語知識：TOEIC®TEST 745点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

日本公認会計士の受験勉強において定評があり、TACのカリキュラムをこなせば合格出来ると思い選択しました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

本科生の講義数が適量であり、教材もカリキュラムも勉強する者にとって頼れる存在でした。特に直前まとめは、しっかり読み込めば合格できると言っても過言ではありませんでした。講師も経験豊富な方が多く、聞き手にとってわかり易い授業を行ってくれました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

海外のDVD通信。4年（転勤が3回あったため、実質は1年半。）

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

直前まとめを5回程度通読し、Becker問題を解きました。何回も問題を解くよりも解説を熟読して理解に努めました。問題自体は一回しか解いておりません。

平日は仕事で勉強時間を確保しにくい為、主にスキマ時間及び週末を利用し、勉強しました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験申請時に協会が個人名の順序を間違えて入力してしまい、直すのに1ヶ月程度かかりました。自分のコントロールできる部分ではないトラブルも考えられるので起きた時TACの講師に相談するなり、冷静に対処するのが大事だと思いました。日本受験時はシステムトラブルで出席登録ができず、昼受験だったのですが、夜に試験が開始しました。（18時開始）試験時間が長い科目なら危うくそのタームの受験ができない可能性もありました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

私は、海外→国内→海外転勤と環境の変化が激しく、長期間勉強の後合格しましたが、この試験は短期決戦が重要だと思います。仕事等両立している方が多いので、長期間受験になるとモチベーションを維持するのが大変になってきます。試験制度や内容が頻繁に変わる為できるだけ短い期間での受験に努めてください。

最後に、諦めずに勉強していけば合格できますので決して気負いせずに頑張ってください。



英語力と会計関連知識の向上に有用

大内 大輔 さん

立教大学大学院 経済学研究科 卒業
勤務先：会計系コンサルティング会社
日系・外資系の証券会社にて約10年間、米国・
国際会計業務、企業審査業務等に携わる。

2013年2月 USCPA試験合格（ワシントン州）
FAR：83点（2012年11月／1回目）、BEC：82点（2013年2月／1回目）
REG：78点（2012年11月／1回目）、AUD：84点（2012年11月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

日系証券会社に勤めている際、米国基準の連結会計業務を担当していました。

このため、仕事に関連する知識の向上、英語力の向上を目指したことが最大の要因です。

加えて、財務会計のみならず、監査、税法、管理会計等の知識も修得していた方が、将来のキャリア構築に有用であると思ったこともU.S.CPAを選択した要因となりました。

更に、U.S.CPAは学習ボリュームがあり、科目有効期限18ヶ月の制約があるものの、年に4回の受験機会があるため、社会人に向いていると思ったことも要因となりました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

過去に大学院で会計学を専攻していたこと、企業審査の業務経験があったことから、日本語ベースでの財務会計と財務分析の知識はありましたが、監査、管理会計、税法の体系的な知識は不足していたと思います。また、英語力は、辞書を使ってゆっくりと読解する程度の力だったと思います（TOEIC 700位。その後、TOEIC 870に伸びました）。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

会計士や税理士などの会計系の講座に強い印象があったこと、友人がTACに通って会計士の試験に受かっていたこと、Beckerと提携していること、5年間の再受講制度があったことから、TACを選択しました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

各講座とも論点や試験の傾向を確認するのに役立ちました。問題練習にはBeckerのソフトウェアが非常に役立ちました。また、試験直前期には総まとめ講義及び総まとめテキストが重宝しました。加えて、Written CommunicationやSimulation対策講義も役に立ちました。講義期間の一年間が修了した後は、5年間の再受講制度を活用し、制度改正や傾向を把握しました。

いずれにしても、独学では到底太刀打ちできないボリュームがあるため、TACの講座は非常に役に立ちました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

仕事がかかり忙しかったため、通信DVD講座を選択しました。

月100時間超の残業や海外勤務もありましたので、講座は

開始したものの勉強がほとんどできない月が相当ありました。従って、そのような繁忙期を除いた実質的な期間はおよそ2年半位で、勉強時間は1,500～2,000時間位だと思います。

期間はかかりましたが、休みの日には家族とリフレッシュもしていましたので、生活のクオリティは保つことができました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

まずはオーソドックスに講義DVD100本を視聴し、これに合わせて、TACテキストと問題集を解いていきました。その後は、Beckerに移行し、全ての問題を2回転以上解きました。

直前期は、BeckerのSIM、Final examやProgress test、AICPA公表問題7年分を解くと共に、直前総まとめ講座を活用しました。以上、基本的には、TACが推奨する手順で学習を行いました。

直前期には、米国や日本の受験生のWebを閲覧し、試験傾向やヒントを掴むことが、モチベーション向上に役立ちました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

出願州ですが、私の場合はワシントン州を選択し、合格後はライセンス取得を予定していました。試験は日本（茅町）で受験しました。手続きはメールやWebで速やかに進めることができました。

テストは3～4時間でかつ英語で行われますので、試験当日の鋭気と集中力を保つことに尽力しました。18ヶ月の科目合格有効期限があるため、可能な限り一度で合格したいと思い、学習・受験スケジュールを綿密に計画し、直前期はまとまった休暇を取得して受験に専念しました。結果、FAR, BEC, REGを1回目の試験、AUDを2回目の試験で突破することができました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

私のように仕事が多忙な職場であっても、期間をかけて計画的に学習していけば、合格できる可能性は高まっていくと思います。いずれにせよ、最後まで諦めないことが重要だと思います。



TAC を信じてやるべきことをしっかりこなせば合格できます！

M.I さん

慶應義塾大学 2009年卒業

2013年2月 USCPA試験合格（アラスカ州）

FAR：82点（2012年8月／1回目）、BEC：75点（2013年2月／1回目）

REG：88点（2012年11月／1回目）、AUD：84点（2013年2月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

学生時代に友人が取得していた事もありU.S.CPAの存在は知っていましたが、日本受験が可能になった事を知って勉強を開始しました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記1級程度

英語知識：TOEIC®TEST 890点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

学生時代に友人がTACで学習し、U.S.CPAに合格していた事や大学生の頃の友人の多くがTACで日本の会計士の勉強をして合格していたので、会計を勉強するならTACしかないと思い選びました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

AUDの一回目の受験ではBeckerのMCだけを一度解いて69点でfailしました。TBSはMCの知識で解ける問題が比較的多いですが、対策はするべきです。直前対策講義を利用しTBS対策をしてリベンジできました。

また、講座申し込みをしてしばらく放置していたため、改正が頻繁に行われるREGだけは5年間継続再受講制度を利用しました。この点は非常に助かりました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信で本格的に勉強を始めてちょうど1年程です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

全般的な学習法

まずレギュラーの講義を受講し、Beckerを1周します。その際に不正解の問題、少しでも理解が不十分な問題をチェックしておきます。そして、その後それらの問題を2周したら、直前対策講義受講、本試験直前にBeckerのFinal Exam2回分を時間を計って解きました。全科目このサイクルで合格できました。

科目別

FARは日本の基準と異なる部分と公会計を重点的に学習しました。日本人には馴染みがなくとっつきにくい公会計ですが、内田先生が重要と指摘したポイントをマスターすれば合格点は取れると思います。

BECは原価計算、ファイナンスの基本的な計算問題は完璧にしました。試験直前にCG、IT等の暗記を重点的に行いました。

学習を始める際に一番不安だった科目がREGでしたが、講義が進むにつれてその様な不安はなくなりました。特に、内田先生のTAXの講義は秀逸でした。TAX、BL共に覚える事が多い科目ですが、内田先生と杉浦先生のおかげで重要ポイントを効率的に学習できました。BLは深入りせず、杉浦先生がAランクと指摘された部分だけ暗記しました。

AUDは監査手続きが監査のプロセスのどのフェイズで行われているかを常に意識して学習しました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

出願手続き等はTACの受講生サイトにわかりやすく説明してありましたので、スムーズに行えました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

合格に必要な教材は提供されますので、後は自分がやるべき事をしっかりこなし、消化する事が重要です。必ず合格するんだという強い気持ちを持って、諦めずに頑張りましょう！TACを信じて学習すれば、合格できます！



最後まで頑張りましょう。

田村 敦 さん

1984年生まれ
慶応義塾大学 2007年卒業
公認会計士

2013年2月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）
FAR：83点（2012年8月／1回目）、BEC：76点（2012年8月／1回目）
REG：84点（2013年1月／2回目）、AUD：76点（2012年11月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

日本の公認会計士資格は保有していましたが、会計の国際化が進む中で英文の会計に慣れる必要性を感じ、英文会計に慣れるためのきっかけ・手段としてUSCPA試験にチャレンジしようと思いました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日本の公認会計士資格を保有
英語知識：TOEIC®TEST 740点程度

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

周りのTACの評判それから、Beckerと提携しているなど教材、カリキュラムがしっかりしていると判断したため。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

講義あるいは教材において、テスト範囲を網羅的に取り上げることはもちろんのこと、テストの出題可能性に応じてテーマ毎に優先度をつけて講義してもらえたので、時間配分等が適切に行えたと思う。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通学。通学し始めてから1年3カ月で全科目合格。具体的な勉強時間は、試験直前約2週間においては、きっちりと勉強時間を取るが、それまでは時間があるときに少し勉強する程度（1週間で数時間）。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

ひとつ言えることは、合格のためにはTACの講義、教材のみで十分だということです。あとはTACの先生の方々に信頼して、TACの先生が指示する優先度を考慮して勉強の時間配分を決めることが大事だと思います。後は繰り返し問題を解くことで必ず合格に近づいて行くと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続はTACの受講生サイト等で詳しく紹介されているため、スムーズに行えたと思う。また、日本受験でしたので受験も手軽にまた不安なく行えたと思う。テスト形式については、BeckerのDisc教材において、実際のテストさながらの状態ですべて予習・模擬テストを行えたため、非常に参考になったし、試験当日も落ち着いて臨めたと思う。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

繰り返しになりますが、TACのカリキュラムのみで確実に合格できると思いますので、TACを最後まで信じてあきらめずに勉強されるときっと良い結果を得ることができると思います。



USCPA は自分と人生を変えてくれました。

N.T さん

札幌大学 女子短期大学部 文化学科 卒業
勤務先：外資系経理

2013年8月 USCPA試験合格（デラウェア州）
FAR：85点（2012年8月／2回以上～）
BEC：75点（2013年8月／2回以上～）
REG：77点（2013年5月／2回目）※1回目expire（2011年5月合格80点）
AUD：78点（2013年2月／2回以上～）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

外資経理の仕事につきたく、簿記・会計知識がゼロだったため、簿記の勉強から始め3級と2級に合格しました。次にBaticをはじめようかと思っていたところ、直接CPAチャレンジをすすめられました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級
英語知識：TOEIC®L&R TEST 755点（スコアの大部分がリスニングセクションによるもので読み書きは苦手）

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

他校の説明会で、始めるだけムダと門前払いされ諦めていたところ、転職先の同僚がTAC生で、法人割引がきくこと、TACは費用・授業料も他校とくらべ良心的であること、英語がイマイチでもテキストが日本語併記で分かりやすいことなど教えてくれ、早速説明会に行きました。スタッフの方達がとてもフレンドリーで大学を出ていなくても受験が可能であることや、コースや単位取得などについても親切に教えてくれ、雰囲気もよかったですので早速申込みをました。説明会と一緒に参加していた人達とも、一緒に始めよう、頑張ろうよという話が出来て楽しかったです。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

やはりBeckerを教材として使っているところはかなり魅力だと思います。

またTACのオリジナルテキストは日本語併記で理解がしやすく、講義も初心者の目線で話をしてくれ本当に助かりました。難しいことを分かりやすくはTACならではのようです。

特に内田先生の講義や直前対策などのオリジナルの教材も素晴らしいです。

途中で長いブランクを余儀なくされたのですが、どの科目の何から手をつけていいかわからない状態の自分にとってREGは突破口となりました。

また草野先生のFARは見た目を裏切るおもしろさで、昔理解できなかったFAR2がお笑いをみている感じで（すみません）、本当に楽しく講義を視聴できました。

最初にREGが受かりその後FARが受かったのも講義がおもしろく理解も進み興味をもって勉強できたためだと思います。

また、現在もあるかどうか分かりませんが、以前は合格者の方達が勉強の質問に答えてくれたりするコーナーがありまして、いろいろ受験の話やアドバイスなどが聞けて良かったです。

（※不定期ですが、講師や合格者の方より、学習のアドバイスやUSCPAの活かし方をお伝えするセミナーを開催しております。）

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通学の教室講座でした。クラスメイトとも仲良くなれましたので良かったです。

受験資格を得てから、3年半ぐらいのブランクを余儀なくされた

ため、トータルの時間はかかりました。

ブランク後は、科目によっては通学のDVD講座で再受講をしました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

半年～一年で受かる方はあまり必要ないかもしれませんが、まとめノートはすごく役に立ちました。TAXは内田先生のがありますので、その他の科目は自分で作成しました。決まってきたり作る必要はなく、トピックごとに間違ったBeckerの問題番号や解説、自分で調べたことやひらめいたこと、覚えるための自分なりの理屈、my tipなどの情報や知識をこれにまとめました。作るのに時間はかかるかもしれませんが、通勤中や、勉強をはじめ前に見直して記憶定着に努めたり、直前では今までの総reviewにとっても役立ちました。特に覚えることの多い科目ではいいかと思えます。また自分はREGが失効して再度受験しましたが、まとめノートがあるおかげで2年ぶりですが比較的思い出すのは早かったかと思えます。

REG：何故か好きな科目になってしまいました。（2回も合格しましたし!）TAXは内田先生の講義と教材で大丈夫かと思えます。特にBASISに関しては説明も素晴らしく得意分野になりました。理解がイマイチなところや何度も間違える問題・論点などは自分で調べて直対の補助レジュメに追記していました。Business lawは難しい言葉を難しい説明で覚えても、理解もできないしすぐに忘れるので杉浦先生の分かりやすい具体例で覚えました。杉浦先生の授業も良かったです。Aランクはがんばって覚えました。

税法は暗記ばかりで、と思われそうですが、最低限の重要な数値などは問題を解いているうちに覚えやすし内田先生が講義の中で叫んでくれたりしますので（強調といった方がいいですよ）覚えようとしてあまり覚えたことはあまりないです。またイメージや理屈づけ（自分の理屈でも可）で覚えることは減らせます。また税申告者責任はがっちりやりましょう。試験中に迷った時は、“IRSは納税者からとにかく早くたくさん、なんとかして税金をしばらくとりた”この考えが結構役に立ちました。

FAR：草野先生のいうとおり、「もう頭がいっぱいで、理解できない」という場合は、とにかく講義をメモにとって・・・」とのことだったので、とにかくメモをとりまくっていると、いつの間にか視聴時間をオーバーしてしまっただけでもありました。校舎の方、すみません。でもありがとうございました。とにかくボリュームが多いので、分からないところはとりあえずおいておいて先に全体をつかんだ方がいいと思います。

Beckerでは一つのトピックばかりやるのではなく、一日の勉強で2-3問ずつでもいいので全部のトピックをやるようにしました。忘却防止になります。GOV'T（政府会計）やNPO（非営利組織会計）は内田先生の授業で完璧です。これも唯一FARでの得意分野でした、自分のように数字が嫌いで計算問題が超苦手な方は大事な得点源になるので、厳選問題はしっかりやった方がいいと思います（厳選だけで本番はperfect狙えます）。

AUD：まず理解すべきことを整理し覚えるべきことは絶対覚えるようにしました。どの段階で何をやるのかをしっかりと区別すること。監査は覚えることに工夫しました。二モニックはもちろん、歌にしたり、覚える事を吹き込んで通勤中など聞いていました（ほんとはpodcastを聞きたいところですが、自分で作詞した監査の歌を聞いてました）。四肢択一問題（MC）は何回かやると、味わいがでてくるといふか、理解が深まったり、この問題は実はこういう事をいっていたんだ、みたいな発見があったりしますので、早く解くことだ

けや合ってるか間違っているかだけではなく、じっくり何回も取り組むのも大事だと思います。分からない、間違った時はすぐにSAS(条文)で調べ、ウラをとりました。これが本番のリサーチでも功を奏して、AUDの試験時に条文番号が頭に入っていたので(もちろん全部ではありません。)検索しなくてもラッキーに即答できたこともたびたびありました。

BEC : バックグラウンドがない自分にとって一番の難関科目でした。とにかく苦勞しました。最近の傾向をみますと、公式を覚えればあてはめて解けるといった問題が少なくなった気がします。問題集だけではなく、ネットで調べたり、経済など関連分野の本を立ち読みしたり、他の受験生の方が勤めている本などを讀んだりしました。

他の3科目に合格し、最後に不合格記録更新中のBECだけが残り、困り果てどうしようとするご悩みました。

それまではWC(記述式の問題)は知識が足りず今まで対策したこともなく、本番試験では、3行程度思いつくまま書いている状態でした(点数はもらえてなかったと思います)。

が、考えを改めWCで15点中、3点は取ることを考えました。他の受験生の意見を参考にし、自分なりにまじめに対策をしたらなんとかぎりぎり合格しましたので、やはりWCも合格点を狙うためには大事だと思いました。ちなみにWCも一応パターンがあります。同じトピックが出たことも3回ぐらいあります。

*仕事と勉強の両立は大変ですが、まず勉強は机でするもの(計算をのぞいて)という概念を捨てて、どこへでも教材を持ち運び、いつでも勉強できるように工夫しました。

他の方達も朝型が多いと思いますが、私も朝は3時(試験直前)~4時に起きて、会社近くのカフェや会社のスカイロビーなどで2時間ちょっと程度やっていました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

たくさん受験をしましたけど手続に関しては大きくトラブったことはありませんでした。

唯一、パソコンの調子が悪くウェブで再受験申込みができなかったことがあり、真夜中にNASBAに直接電話をして申込みをしたことが一回あるだけです。また、せっかちなので昔はNTSがちょっとでも遅いとNASBAに催促をしていました。

宿泊施設では、NYで受験の時、節約のため格安の怪しいところ(マンハッタンの真ん中で75ドル)に泊ったら夜、怖くて寝られず、時差ぼけもあり大失敗をしたことがあります。

グアムに比べるとNYの試験会場は監視のカメラも殆どないし、見張りもないし楽な感じで受験はできましたが、日本人は自分一人で周りが巨大なアメリカ人で貧乏ゆすりや独り言がうるさくて集中できませんでした。

また受験後attendance letterがもらえなかったり(プリンタが壊れていたっぽい)、その点ではグアムやハワイの方が試験会場はちゃんとしているかもしれません。付近に宮殿みたいな図書館やカフェがたくさんあるのは良かったです。

REGが失効して2年ぶりに受験した時、勉強に夢中になっていて、試験時間など肝心の基本情報の確認を忘れていて、グアムテストセンターの受付で、“そういえばREGって今でも3時間の試験だよな?”とあわてて試験直前にスタッフに確認するなど、初歩的な確認を忘れてしまったことがありました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

人の数倍、勉強&受験を経験しましたが、本当に諦めなければ自分のような者でも合格をすることは可能でした。なかなか科目合格ができなく、やっぱり自分には無理かもと思っていたら、追い打ちで州が受験要件を変更し、大学を出ていない自分は受験資格を失う可能性がありました。何とか受験資格を失わずにすみ、試験を一度諦めたところから、奇跡の逆転合格をしました。

たくさん受験を経験し、辛い時も多かったのですが、自分を上回るすごいチャレンジャーなアメリカ人を発見し励みにしました。

本番の試験では、テストレットが進むにつれてどんどん難しくなったら受かるとか、難しくならず簡単な問題をくらったら落ちるとか、一応そういうことにはなっているようですが、あまり気にしない方がいいです。

決まりでは、最初のテストレットは全員がmediumということですが、“これのどこがmediumなんだ!”というようなこともたくさんありましたし、難易度の差にあまり気がつかなかったこともありました。

手ごたえと試験結果が一致することもあまりなかったです(今度こそ受かったと思ったら不合格、絶対また落ちたと思ってBeckerをやりはじめたら合格していたなど)。

また受験の合格目安として問題集正答率が90%~といわれていますが、私は必ずしもそんなことはなく、得にFARについてはいつも65-70%前後でしたが、本番は85点で受かりました。大事なのは勉強中や試験終了の一秒前まで絶対に諦めないことだと思います。

試験前夜はホテルで夜中12時から起きてバナラテを飲み、目を覚まし気合入れて直前reviewをやっていました。試験はいつも昼近くに設定していたので10-11時間くらいは試験直前に勉強できました。自分の合格は奇跡で、多少出来は悪くても長年がんばっている人間をAICPAは見捨てたりしないと思いました。

最初のころはよく人の意見に左右されていましたが、だんだんと他の受験生のブログなども見なくなりました。

数々の受験経験から自分なりに出題の傾向を分析し、自分なりのやり方、信念を確立しましたので、それが功を奏したと思います(another71というCPA試験のコミュニティサイトはすごく参考にしていました)。

最後に本番試験の自分の解き方のテクニックです。

計算問題科目 : とにかくまず先に問題全部をみる(どんな感じか把握する)。計算問題や時間がかかりそうな問題は飛ばして、すぐにわかる問題(といっても数問でしたが)を先にやってしまつてとりあえず落ち着く、そしてあとから計算問題にしぶしぶ取り組む。

REG : まず先に選択肢をみる。そしてTAXかLAWなのかを瞬間判断。TAXなら回答にcapital gain / lossなどの単語が入っていたら瞬間的にトピックもある程度絞れます。(あまりやっちはいけない事かもしれませんが、本番では時間がなくてbusiness lawは問題文を見ないで選択肢だけを見て直感的に回答をした問題も2-3個ありました。)

AUD : 絶対に先に選択肢は見ないこと(先に選択肢をみると、問題を自分の都合のいいように解釈してしまいます)。先入観を持たずに問題をじっくり読んで理解する。また選択肢を見なくても回答できるようにしておく。

全科目共通 : 時間の管理は大事です(いつも予定をオーバーしてました)。

フラグの立て過ぎに注意(真っ赤になって何がなんだか分からなくなりました)。

いつしか試験会場の筆記用具が鉛筆からペンに変わりましたが、ペンはキャップを閉めないで放置しとくと乾燥してインクの出が悪くなりイラつく原因になる恐れがあるので注意。

他の学校でいわれているかもしれないことで(実際そう言われたので)リサーチ問題は捨てるとかMCに偏重した勉強方法は自分は勧めません。本番で時間ない時なら分かりますが、勉強段階で捨てるかかるのはよくないと思います。また自分が合格できたのは初めはMCばかりやっていましたが、結果的にはどれも捨てることなく(分からなくても、解けなくても)とりあえずまんべんなくやったおかげです。TBS(総合問題)もWC(記述式の問題)もMC(四肢択一問題)の延長でありこれらもMC同様に一応対策したのでたぶん合格できました。

試験成績がイマイチでもAICPAに頑張りの気持ちと感謝が伝われば合格できます!